

(様式第 10)

三大医病総 695 号  
令和元年 10 月 3 日

厚生労働大臣

殿

国立大学法人三重大学  
学長 駒田 美弘 (印)

国立大学法人三重大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 30 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
氏 名	国立大学法人三重大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

国立大学法人三重大学医学部附属病院
-------------------

3 所在の場所

〒514-8507 三重県津市江戸橋2丁目174番地	電話( 059 ) 232 - 1111
-------------------------------	----------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜
---

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
①呼吸器内科                      2 消化器内科                      ③循環器内科                      ④腎臓内科 5 神経内科                      ⑥血液内科                      7 内分泌内科                      8 代謝内科 9 感染症内科                      10 アレルギー疾患内科またはアレルギー科                      11 リウマチ科	
診療実績	
消化器内科：消化器・肝臓内科にて医療を提供している。 神経内科：脳神経内科にて医療を提供している。 内分泌内科、代謝内科：糖尿病・内分泌内科にて医療を提供している。 リウマチ科：リウマチ・膠原病内科にて医療を提供している。	

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

- 2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名	
①呼吸器外科                      ②消化器外科                      ③乳腺外科                      4心臓外科 5血管外科                      ⑥心臓血管外科                      7内分泌外科                      ⑧小児外科	
診療実績	

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。  
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科    ②小児科    ③整形外科    ④脳神経外科    ⑤皮膚科    ⑥泌尿器科    ⑦産婦人科 8産科    9婦人科    ⑩眼科    ⑪耳鼻咽喉科    ⑫放射線科    13放射線診断科 14放射線治療科    ⑮麻酔科    ⑯救急科
--

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有 ・ (無)
歯科と組み合わせた診療科名	
1小児歯科    2矯正歯科    ③口腔外科	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。  
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 脳神経内科    2 消化器・肝臓内科    3 腫瘍内科    4 糖尿病・内分泌内科    5 緩和ケア科 6 病理診断科    7 移植外科                      8 形成外科    9 リウマチ・膠原病内科
--

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
30床	0床	0床	0床	655床	685床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	270人	207人	446.1人	看護補助者	70人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	8人	10人	18人	理学療法士	11人	臨床検査技師	63人
薬 剤 師	32人	18人	48.1人	作業療法士	3人	衛生検査技師	1人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	7人	その他	0人
助 産 師	38人	3人	40.3人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	3人
看 護 師	562人	78人	617.8人	臨床工学士	26人	医療社会事業従事者	10人
准看護師	0人	18人	13.2人	栄 養 士	0人	その他の技術員	64人
歯科衛生士	1人	2人	3人	歯科技工士	2人	事務職員	237人
管理栄養士	4人	6人	9.8人	診療放射線技師	41人	その他の職員	0人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	57人	眼 科 専 門 医	10人
外 科 専 門 医	50人	耳鼻咽喉科専門医	9人
精神科専門医	5人	放射線科専門医	25人
小児科専門医	19人	脳神経外科専門医	12人
皮膚科専門医	4人	整形外科専門医	13人
泌尿器科専門医	8人	麻酔科専門医	12人
産婦人科専門医	15人	救急科専門医	14人
		合 計	253人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 伊佐地 秀司 ) 任命年月日 令和元年10月1日

医療安全管理委員会や三重県医師会事故調査委員会の委員として、院内・院外において業務を経験。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	524.4人	10.4人	534.8人
1日当たり平均外来患者数	1,372.6人	85.9人	1,458人
1日当たり平均調剤数			756.1剤
必要医師数			134.2人
必要歯科医師数			7.0人
必要薬剤師数			18人
必要(准)看護師数			317人

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	285.60m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数	13床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 374m <sup>2</sup> [移動式の場合] 台数 台		病床数	31床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 53m <sup>2</sup> [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	423 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 遠心機、自動分析装置			
細菌検査室	147 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 顕微鏡、遠心機、安全キャビネット			
病理検査室	236 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 顕微鏡、染色装置			
病理解剖室	32 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 電動昇降式解剖台			
研究室	758 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 遺伝子解析装置、液体クロマトグラフ、自動洗浄機			
講義室	1382 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	16 室	収容定員	1,070 人
図書室	759 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	2 室	蔵書数	55,180 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	84.9%	逆紹介率	64.3%
算出根拠	A：紹介患者の数		13,591人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		11,182人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		1,171人
	D：初診の患者の数		17,385人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
奥野 正義	中部電力株式会社 調査役		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	2
片山 眞洋	片山法律事務所 弁護士		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1
小池 敦	三重県立看護大学 看護学部 教授		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	2
鈴木 明	浜松医科大学医学部 附属病院 医療安全管理室 特任講師	○	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。  
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者  
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）  
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
委員の選定理由の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
公表の方法 本学ホームページへ掲載。	





(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	腎がんに対するラジオ波焼灼療法	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 ラジオ波通電用手電極針をCT画像ガイド下にて経皮的に腫瘍内に穿刺、留置し、ラジオ波を流すことで組織内の温度を上げ、腫瘍を壊死させる治療法である。			
医療技術名	副腎腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 ラジオ波通電用手電極針をCT画像ガイド下にて経皮的に腫瘍内に穿刺、留置し、ラジオ波を流すことで組織内の温度を上げ、腫瘍を壊死させる治療法である。			
医療技術名	肺がんに対するラジオ波焼灼療法	取扱患者数	63人
当該医療技術の概要 ラジオ波通電用手電極針をCT画像ガイド下にて経皮的に腫瘍内に穿刺、留置し、ラジオ波を流すことで組織内の温度を上げ、腫瘍を壊死させる治療法である。			
医療技術名	骨腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 ラジオ波通電用手電極針をCT画像ガイド下にて経皮的に腫瘍内に穿刺、留置し、ラジオ波を流すことで組織内の温度を上げ、腫瘍を壊死させる治療法である。			
医療技術名	骨悪性腫瘍に対する凍結療法	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 ラジオ波通電用手電極をCT画像ガイド下にて経皮的に腫瘍に穿刺し、腫瘍に対してラジオ波発生装置による凝固療法である。			
医療技術名	骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 有痛性骨病変に対して、経皮的骨形成術を行う。11Gの骨生検針を骨内に挿入し、骨セメントを注入する。本院での入院期間は約6日間と短期間である。			
医療技術名	内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下胃切除術	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 胃がん患者に対して遠隔操作による手術ロボット「da Vinci Surgical System」を用いて、内視鏡下に行うもの。			
医療技術名	内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 子宮体がん患者に対して遠隔操作による手術ロボット「da Vinci Surgical System」を用いて、内視鏡下に行うもの。			
医療技術名	遺伝子変異保有者に対するリスク低減両側卵管卵巣切除術	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 BRCA1/2遺伝子の異変が認められた、今後の妊娠を希望しない方に対して卵巣がんのリスクを下げるために、がんを発症する前に左右両方の卵巣および卵管を切除する。			
医療技術名	卵巣がんに対する腹腔鏡下卵巣がん根治術・傍大動脈リンパ節郭清術	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 最大径10cm以下で原発性卵巣癌Ⅰ期～Ⅱ期が疑われ、病理組織にて悪性と診断された挙児希望を有さない25～75歳の女性に対し、腹腔鏡下子宮全摘、両側付属器切除、大網切除、骨盤リンパ節郭清、傍大動脈リンパ節郭清を施行する。			
医療技術名	子宮頸癌に対する腹腔鏡下傍大動脈リンパ節生検術	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 子宮頸癌(扁平上皮癌、腺癌、腺扁平上皮癌)ⅡB～ⅢB期、画像診断で骨盤リンパ節陽性と診断された症例で、画像検索(CT/MRI/PET-CT)にて傍大動脈リンパ節(腎静脈～総腸骨動脈分岐部:以下PAN)転移以外の遠隔転移を認めない20～75歳の女性に対し、腹腔鏡下傍大動脈リンパ節生検を施行する。			



---

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	0	56	ベーチェット病	53
2	筋萎縮性側索硬化症	11	57	特発性拡張型心筋症	60
3	脊髄性筋萎縮症	0	58	肥大型心筋症	18
4	原発性側索硬化症	1	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	8	60	再生不良性貧血	28
6	パーキンソン病	174	61	自己免疫性溶血性貧血	3
7	大脳皮質基底核変性症	4	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1
8	ハンチントン病	1	63	特発性血小板減少性紫斑病	58
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	65	原発性免疫不全症候群	3
11	重症筋無力症	49	66	IgA腎症	46
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	28
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	59	68	黄色靱帯骨化症	8
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	12	69	後縦靱帯骨化症	57
15	封入体筋炎	0	70	広範脊柱管狭窄症	5
16	クドウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	30
17	多系統萎縮症	16	72	下垂体性ADH分泌異常症	25
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	46	73	下垂体性TSH分泌亢進症	2
19	ライソゾーム病	1	74	下垂体性PRL分泌亢進症	10
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	6
21	ミトコンドリア病	1	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	35	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	20
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	60
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	0	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	1
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	16	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	50
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	7
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	36
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	27
34	神経線維腫症	24	89	リンパ脈管筋腫症	2
35	天疱瘡	17	90	網膜色素変性症	34
36	表皮水疱症	0	91	バッド・キアリ症候群	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	13	92	特発性門脈圧亢進症	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	2	93	原発性胆汁性肝硬変	53
39	中毒性表皮壊死症	2	94	原発性硬化性胆管炎	5
40	高安動脈炎	16	95	自己免疫性肝炎	9
41	巨細胞性動脈炎	0	96	クローン病	204
42	結節性多発動脈炎	11	97	潰瘍性大腸炎	347
43	顕微鏡的多発血管炎	9	98	好酸球性消化管疾患	1
44	多発血管炎性肉芽腫症	6	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	1
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	6	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	9	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャール病	3	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	4	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	173	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	91	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	134	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	27	107	全身型若年性特発性関節炎	1
53	シェーグレン症候群	15	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人ステル病	5	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	3
55	再発性多発軟骨炎	2	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	8
113	筋ジストロフィー	7	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	1	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	2	167	マルファン症候群	3
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	1
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	1	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	1	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	1
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	1
142	ミオクロニー欠伸てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	1
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	1	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	1	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	4	208	修正大血管転位症	1
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	2

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	8	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	26	270	慢性再発性多発性骨髄炎	1
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	7
224	紫斑病性腎炎	5	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	5	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	1
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	1	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	4
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	2
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	2
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	7
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	9
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	1	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	47

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	$\beta$ -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症	0

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・高度難聴指導管理料	・羊膜移植術
・慢性維持透析患者外来医学管理料	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・糖尿病合併症管理料	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・糖尿病合併症管理料	・網膜再建術
・がん性疼痛緩和指導管理料	・人工内耳埋込術
・がん患者指導管理料1~3	・植込骨導補聴器の植え込み及び接合子付骨導端子又は骨導端子の交換
・外来緩和ケア管理料	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅴ(拡大副鼻腔手術)
・移植後患者指導管理料	・上顎・下顎骨形成術(歯科診療に係るものに限る)
・糖尿病透析予防指導管理料	・乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術
・外来リハビリテーション診療料	・乳がんセンチネルリンパ節加算1、2
・外来放射線照射診療料	・人工乳房及び組織拡張器
・開放型病院共同指導料	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る)
・ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅱ)	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、
・がん治療連携計画策定料	胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、
・認知症専門診断管理料	結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、
・肝炎インターフェロン治療計画料	尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、
・ハイリスク妊産婦連携指導料Ⅰ・Ⅱ	膣腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・薬剤管理指導料	・経皮的冠動脈形成術
・地域連携診療計画加算	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・診療情報提供料(Ⅰ) 検査・画像情報提供加算	・経カテーテル大動脈弁置換術
・診療情報提供料(Ⅰ) 電子的診療情報提供料	・経皮的中隔心筋焼灼術
・医療機器安全管理料1・2	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・歯科治療総合医療管理料	・ペースメーカー移植術(リードレスペースメーカー)
・在宅血液透析指導管理料	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)
・持続血糖測定器加算	・両室ペーシング機能付埋込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付埋込型除細動器交換術

・造血器腫瘍遺伝子検査	・大動脈バルーンパンピング法
・遺伝学的検査	・補助人工心臓
・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	・経皮的動脈遮断術
・HPV核酸検出	・ダメージコントロール手術
・HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・検体検査管理加算(Ⅰ)(Ⅳ)	・腹腔鏡下噴門側胃術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・国際標準検査管理加算	・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・遺伝カウンセリング加算	・胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うもの)
・植込型心電図検査	・腹腔鏡下肝切除術
・時間内歩行試験	・腹腔鏡下肝切除術(亜区域切除、1区域切除(外側区域切除を除く)、2区域切除及び3区域切除以上のもの)
・シャトルウォーキングテスト	・生体部分肝移植術
・胎児心エコー法	・同種死体肝移植術
・ヘッドアップティルト試験	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・皮下連続式グルコース測定	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・長期継続頭蓋内脳波検査	・腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術
・補聴器適合検査	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・ロービジョン検査判断料	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・コンタクトレンズ検査料1	・腹腔鏡下小切開副腎摘出術
・内服・点滴誘発試験	・腹腔鏡下小切開腎部分切除術
・センチネルリンパ節生検	・腹腔鏡下小切開腎摘出術
・CT透視下気管支鏡検査加算	・腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術
・画像診断管理加算1, 2	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・ポジトロン断層撮影	・同種死体腎移植術
・ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影	・生体腎移植術
・CT撮影及びMRI撮影	・膀胱水圧拡張術
・冠動脈CT撮影加算	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・外傷全身CT加算	・人工尿道括約筋植込・置換術
・大腸CT撮影加算	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器加算を用いるもの)
・心臓MRI撮影加算	・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・腹腔鏡下仙骨腫固定術



・外来化学療法加算1	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・無菌製剤処理料	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)
・歯科口腔リハビリテーション2	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・輸血管理料(Ⅰ)、(Ⅱ)
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・貯血式自己血輸血管理体制加算
・がん患者リハビリテーション料	・自己生体組織接着剤作成術
・認知療法・認知行動療法	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・精神科ショート・ケア及びデイ・ケア(小規模なもの)	・歯周組織再生誘導手術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料	・手術時歯根面レーザー応用加算
・医療保護入院等診療料	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・エタノールの局所注入(甲状腺・副甲状腺)	・麻酔管理料Ⅰ、Ⅱ
・人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)	・放射線治療専任加算
・人工腎臓の導入期加算2(腎代替療法実績加算)	・外来放射線治療加算
・透析液水質確保加算2	・高エネルギー放射線治療
・一酸化窒素吸入療法	・強度変調放射線治療(IMRT)
・う蝕歯無痛の窩洞形成加算	・1回線量増加加算(全乳房照射)
・歯科技工加算	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算)	・体外照射呼吸性移動対策加算
・皮膚移植術(死体)	・1回線量増加加算(前立腺照射)
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る)【一次再建・二次再建】	・定位放射線治療
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種移植術(非生体)(同種骨移植術(特殊なものに限る))	・定位放射線治療呼吸移動対策加算
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・画像誘導密封小線源治療加算
・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製
・腫瘍脊椎骨全摘出術	・テレパソロジーによる術中迅速細胞診
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	・病理診断管理加算2(デジタル病理画像)
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・仙骨神経刺激装置植込術・交換術	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・CAD/CAM冠	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・脳波検査判断料1	・神経学的検査

・MRI断層撮影 頭部MRI加算	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・胸腔鏡下弁形成術	・胸腔鏡下弁置換術
・骨髄微小残存病変量測定	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	・腹腔鏡下広汎子宮全摘術
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。  
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1回/1ヶ月
剖検の状況	剖検症例数 23例 / 剖検率 7.9%

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
分子基盤に基づく難治性リンパ系腫瘍の診断及び治療法の開発と標準治療確立のための多施設共同研究	山口 素子	医学部附属病院	1,500,000	補委 国立研究開発法人 国立がん研究センター
びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の難治性病型に対する治療研究	山口 素子	医学部附属病院	6,135,840	補委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
VAV1リン酸化亢進を伴う濾胞性ヘルパーT細胞リンパ腫に対するダサチニブの適応拡大を目指す研究	山口 素子	医学部附属病院	2,000,000	補委 国立大学法人 筑波大学
NY-ESO-1抗原特異的TCR遺伝子導入Tリンパ球輸注による同種移植後再発難治性成人T細胞白血病リンパ腫を対象とした多施設共同臨床第1相医師主導治験	俵 功	医学部附属病院	461,538	補委 国立大学法人 長崎大学 大学院医師薬学総合研究科
保存期慢性腎臓病患者を対象とした臨床研究—ダルベポエチン アルファ製剤低反応に関する検討—(BRIGHTEN)	石川 英二	医学部附属病院	498,450	補委 公益財団法人 神戸医療産業都市 推進機構
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	浅沼 邦洋	医学部附属病院	153,846	補委 国立大学法人 岡山大学
早期関節リウマチ患者における初期治療効果反応性による治療強化の予後予測に関する研究	若林 弘樹	医学部附属病院	76,923	補委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
治療の実施に関する研究(G-CSF)急性骨髄腫患者に対する顆粒球コロニー刺激因子を用いたランダム化、プラセボ対照、二重盲検並行群比較試験第Ⅲ相試験	明田 浩司	医学部附属病院	630,769	補委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (公益財団法人 日本医師会治療促進センター)
次世代型人口推測の開発	明田 浩司	医学部附属病院	1,000,000	補委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
がんゲノム個別化医療の実現に向けた遺伝子診断共通カリキュラム構築と教育・研修プログラムの実証的開発研究	中谷 中	医学部附属病院	1,200,000	補委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
治療の実施に関する研究(ザルトプロフェン)びまん性濾胞性リンパ腫(色素性絨毛結節性滑膜炎)及び根治切除不能な限局型濾胞性リンパ腫(濾胞性リンパ腫)患者に対するザルトプロフェンのプラセボ対照ランダム化二重盲検比較試験(第Ⅱ相試験)	中村 知樹	医学部附属病院	572,116	補委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (公益財団法人 日本医師会治療促進センター)
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験介入終了後の追跡研究 J-DOIT3(追跡)	矢野 裕	医学部附属病院	300,000	補委 公益財団法人 日本糖尿病財団
インスリン製剤とシタグリプチン併用による有用性の検討-前向き観察研究	矢野 裕	医学部附属病院	1,500,000	補委 公益財団法人 日本糖尿病協会
J-DREAMS=ホートを利用した糖尿病患者の合併症進展に関する縦断研究	矢野 裕	医学部附属病院	300,000	補委 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
平成30年度HIV感染者等保険福祉相談事業(エイズ中核拠点病院相談事業)	大石 晃嗣	医学部附属病院	750,000	補委 公益財団法人 エイズ予防財団
「軽症・中等症血友病、および保因者女性の臨床解析、ガイドラインへの応用	松本 剛史	医学部附属病院	3,000,000	補委 学校法人 自治医科大学
安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者におけるリバーロキサパン単剤療法に関する臨床研究	伊藤 正明	医学部附属病院	207,690	補委 公益在団法人 循環器病研究振興財団
日本における急性心筋梗塞患者の治療および予後の実態調査(JAMIR前向き研究)	伊藤 正明	医学部附属病院	58,238	補委 公益在団法人 循環器病研究振興財団
乳癌治療における心臓合併症の新たなリスク因子の解明と早期診断法と評価法標準化の確立	土肥 薫	医学部附属病院	153,847	補委 国立大学法人 東北大学
分化型甲状腺癌を対象としたレンパチニブの治療効果探索のためのコホート研究	水野 聡朗	医学部附属病院	66,461	補委 公益財団法人 パブリックヘルスリサーチセンター
EGFR阻害薬による座瘡様皮膚炎に対する治療法の検討	小林 哲	医学部附属病院	100,000	補委 独立行政法人 国立がん研究センター
先天性横隔膜ヘルニアにおける最適な人工換気法・手術時期・手術方法に関する研究	内田 恵一	医学部附属病院	200,000	補委 国立大学法人 大阪大学
早期胃癌に対するセンチネルリンパ節を指標としたリンパ節転移診断と個別化手術の有用性に関する臨床試験	大井 正貴	医学部附属病院	206,000	補委 学校法人 慶応義塾
早期胃癌に対する画期的な個別化・超低侵襲手術法の開発と検証/適格例の登録とプロトコル治療	大井 正貴	医学部附属病院	384,616	補委 学校法人 慶応義塾
再発危険因子を有するStage II大腸癌に対するUFT/LV療法臨床的有用性に関する研究(JPMC46-1201)	問山 裕二	医学部附属病院	16,616	補委 公益財団法人 がん集学的治療研究財団

Stage III 結腸癌切除例に対する術後補助化学療法としての mFOLFOX 療法と FOLFIRI 療法における 5-FU 薬抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験 ACHIEVE Trial (FMC47-1202-C3)	問山 裕二	医学部附属病院	8,308	補委	公益財団法人がん集学的治療研究財団
脳梗塞再発高リスク患者を対象とした抗血小板薬併用療法の有効性及び安全性の検討 CSPPS.com	富本 秀和	医学部附属病院	99,693	補委	公益在団法人循環器病研究振興財団
平成30年度医科歯科連携推進人材育成事業	中瀬 一則	医学部附属病院	900,000	補委	三重県
平成30年度三重県感染対策支援ネットワーク事業	田辺 正樹	医学部附属病院	799,200	補委	三重県
基幹型認知症疾患医療センター運営事業	佐藤 正之 吉丸 公子	医学部附属病院	8,074,000	補委	三重県
平成30年度「がん医療水準均てん化」の推進に向けた看護職員資質向上対策事業	中瀬 一則	医学部附属病院	1,784,000	補委	三重県
三重県がん検診受診促進・精度管理事業	伊藤 正明	医学部附属病院	5,839,000	補委	三重県
平成30年度三重県がん登録情報活用事業	中瀬 一則	医学部附属病院	21,510,000	補委	三重県
三重県肝疾患診療地域連携体制強化事業	伊藤 正明	医学部附属病院	12,574,846	補委	三重県
平成30年度肝炎情報センター戦略的強化事業	伊藤 正明	医学部附属病院	954,000	補委	三重県
医療的ケアを必要とする障がい児・者の地域連携・人材育成事業	岩本 彰太郎	医学部附属病院	2,224,800	補委	三重県
平成30年度三重県認知症サポート医フォローアップ研修事業	吉丸 公子	医学部附属病院	338,462	補委	三重県
三重県周産期医療ネットワークシステム運営研究事業	池田 智明	医学部附属病院	4,108,752	補委	三重県
エイズ治療拠点病院等に対する研修・啓発及び医療情報提供等事業	大石 晃嗣	医学部附属病院	700,000	補委	三重県
がん診療連携拠点病院機能強化事業	中瀬 一則	医学部附属病院	40,473,000	補委	厚生労働省
小児がん拠点病院機能強化事業	中瀬 一則	医学部附属病院	32,557,000	補委	厚生労働省
救命救急センター運営事業	伊藤 正明	医学部附属病院	47,870,000	補委	三重県
ドクターヘリ運航事業	伊藤 正明	医学部附属病院	251,506,000	補委	三重県
周産期母子医療センター運営事業	伊藤 正明	医学部附属病院	23,816,000	補委	三重県
産科医等確保支援事業	伊藤 正明	医学部附属病院	3,213,000	補委	三重県
三重県新人看護職員研修事業	伊藤 正明	医学部附属病院	1,893,000	補委	三重県
子育て医師等復帰支援事業補助金就労環境改善支援事業(ハビリーター雇上等育児支援)	伊藤 正明	医学部附属病院	2,677,000	補委	三重県
新生児医療担当医確保支援事業	伊藤 正明	医学部附属病院	1,133,000	補委	三重県
津市病院群輪番制病院運営事業	伊藤 正明	医学部附属病院	3,222,500	補委	津市
三重県医療安全設備整備費補助事業	伊藤 正明	医学部附属病院	2,000,000	補委	三重県
三重県認知症認定看護師支援事業	伊藤 正明	医学部附属病院	100,000	補委	三重県
ドクターヘリ安全研修会助成事業	石倉 健	医学部附属病院	242,480	補委	認定NPO法人救急ヘリ病院ネットワーク
医療情報データベース構築事業	伊藤 正明	医学部附属病院	17,000,000	補委	三重県

認知症ケアの医療介護連携体制構築事業	富本 秀和	医学部附属病院	6,930,000	補委	三重県
ICTを活用した緊密ながん医療連携推進事業	中瀬 一則	医学部附属病院	940,000	補委	三重県
小児在宅医療・福祉連携事業	岩本 彰太郎	医学部附属病院	16,590,000	補委	三重県
総合診療医広域育成拠点整備事業	伊藤 正明	医学部附属病院	2,710,000	補委	三重県
医療研究開発推進事業	西川 政勝	医学部附属病院	2,454,000	補委	国立大学法人 岡山大学
緊張病症状の病態仮説の拡散テンソル画像による形態学的検証	城山 隆	医学部附属病院	406,850	補委	独立行政法人 日本学術振興会
骨軟部腫瘍に対するCTガイド下凍結療法:基礎的研究と臨床試験	中塚 豊真	医学部附属病院	1,216,357	補委	独立行政法人 日本学術振興会
運動教示のためのリアルタイム身体動作符号化	坂本 良太	医学部附属病院	645,693	補委	独立行政法人 日本学術振興会
医師のノンテクニカルスキル習得および向上のための基盤構築に関する研究	兼兒 敏浩	医学部附属病院	100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
暴力の世代伝達を断ち切るケアに関する研究:PTSD予防・治療・回復と周産期支援	鈴木 大	医学部附属病院	50,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
免疫チェックポイント阻害薬のPK/PD評価系構築と個別化治療への応用	岩本 卓也	医学部附属病院	1,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
効果的な医療従事者向けチームコーチングプログラムの開発	田口 智博	医学部附属病院	2,278,293	補委	独立行政法人 日本学術振興会
脂肪肝における肝由来低エントロピー小胞による動脈硬化発症のメカニズムの解明	杉本 和史	医学部附属病院	1,557,889	補委	独立行政法人 日本学術振興会
機能的MR撮影法による頭頸部腫瘍の診断と早期治療効果判定の検討	海野 真記	医学部附属病院	1,713,408	補委	独立行政法人 日本学術振興会
治療抵抗性の肝転移に対する球状塞栓物質を用いた肝動脈塞栓療法:多施設共同臨床試験	中塚 豊真	医学部附属病院	450,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
従来の肝動脈塞栓術不応後の肝細胞癌に対する球状塞栓物質を用いた肝動脈化学塞栓療法	中塚 豊真	医学部附属病院	257,970	補委	独立行政法人 日本学術振興会
クローン病長期寛解維持のための薬剤反応性子測マーカーの解明	荒木 俊光	医学部附属病院	400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
肺移植におけるドナー肺長時間保存法の確立ーより長時間作動PPCの模索ー	島本 亮	医学部附属病院	2,912,537	補委	独立行政法人 日本学術振興会
腫瘍微小環境調整因子併用による抗腫瘍治療薬効果改善法の開発	松原 孝夫	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
血小板の細菌感染防御メカニズムの解明:新しい敗血症治療戦略を提唱するために	亀井 政孝	医学部附属病院	1,372,141	補委	独立行政法人 日本学術振興会
外傷性嗅覚障害に対する抗HMGB1抗体療法確立のための基礎研究	西田 幸平	医学部附属病院	1,648,083	補委	独立行政法人 日本学術振興会
抗酸化剤(ミセル化TENPO)を利用した急性肺傷害治療の開発	中橋 奨	医学部附属病院	1,129,062	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ベイズ法を用いたマクネマー検定の改善	小椋 透	医学部附属病院	127,575	補委	独立行政法人 日本学術振興会
低体温療法時の感染症管理をいかに行うか?:包括的治療戦略構築へのアプローチ	鈴木 圭	医学部附属病院	700,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
敗血症における人工呼吸関連肺損傷に対するトロンボモジュリンの抑制効果	岩下 義明	医学部附属病院	802,332	補委	独立行政法人 日本学術振興会
腸内細菌を基盤にしたimmunoparalysisの病態形成と治療法に関する検討	増井 亜紗実	医学部附属病院	2,605,268	補委	独立行政法人 日本学術振興会
超高感度光ポンピング磁気センサを用いた完全非接触型3次元断層画像化技術の開発	今井 寛	医学部附属病院	80,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
超高感度光ポンピング磁気センサを用いた完全非接触型3次元断層画像化技術の開発	岩下 義明	医学部附属病院	70,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会

酸化ストレス応答性lncRNAを介した薬物動態制御タンパク質の発現調節機構の解明	池村 健治	医学部附属病院	1,500,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
薬物間相互作用を利用したシスプラチン腎障害の新規予防法開発	奥田 真弘	医学部附属病院	1,350,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
糖尿病腎症におけるプロテインSによるマクローファージを介する炎症抑制機序の解析	矢野 裕	医学部附属病院	1,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
東アジア共同によるNK/T細胞リンパ腫新世代治療の最適化	山口 素子	医学部附属病院	900,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
遺伝子改変同種リンパ球による移植後再発腫瘍治療モデル開発と安全性基盤の確立	俵 功	医学部附属病院	950,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
好塩基球を用いた薬疹の新規診断法の確立及びそのメカニズムの解明	欠田 成人	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
統合失調症の認知障害の解明-変化検出とその抑制に着目して	元村 英史	医学部附属病院	1,751,005	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
超低線量4DシネCTによる心筋ブリンシバルストレイン解析の開発と心不全への応用	北川 覚也	医学部附属病院	1,304,421	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
肝動脈灌流・門脈灌流と肝細胞機能の統合的診断法の開発と肝切除術前評価への応用	市川 恭崇	医学部附属病院	827,914	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
拡張型心筋症の詳細な病態把握に役立つ心臓MRI定量解析法の開発	石田 正樹	医学部附属病院	841,950	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
IL-17による腫瘍間質細胞を介した乳癌肺転移促進機構の解明と治療モデルの開発	齋藤 佳菜子	医学部附属病院	1,500,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
大腸癌合併潰瘍性大腸炎患者の早期診断を目指した新たなスクリーニング方法の確立	問山 裕二	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
網羅的口腔内細菌叢の解析から検証する大腸癌発癌の機序	近藤 哲	医学部附属病院	2,521,400	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
新しい非侵襲モニターによる心臓再同期療法の間隔期予後の予測	亀井 政孝	医学部附属病院	30,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
腸管壁内の生体内微小循環解析からみた壊死性腸炎の病態解明と治療戦略	小池 勇樹	医学部附属病院	1,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
新人看護師のリアリティショック軽減に向けたSOCとソーシャルサポート認識への介入	石倉 夏海	医学部附属病院	1,537,805	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
小動物用超音波イメージングを応用した胎仔心不全の病態解明及び新規治療法の開発	三好 剛一	医学部附属病院	1,643,512	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
ガレクチン-3のくも膜下出血後早期脳損傷発生メカニズムにおける役割の解明	芝 真人	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
胎児発育不全に対するタダラフィル母体経口投与に関する臨床試験	金子 倫子	医学部附属病院	1,600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
患者視点に基づいた外科医療の質評価に関する研究	兼兒 敏浩	医学部附属病院	100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
我が国の関節リウマチ診療の標準化に関する臨床疫学研究	中島 亜矢子	医学部附属病院	260,000	補委	厚生労働省	
小児期から移行期・成人期を包括する希少難治性慢性消化器疾患の医療政策に関する研究	内田 恵一	医学部附属病院	200,000	補委	厚生労働省	
新型インフルエンザ等の感染症発生時のリスクマネジメントに資する感染症のリスク評価及び公衆衛生的対策の強化に関する研究	田辺 正樹	医学部附属病院	900,000	補委	厚生労働省	
地域における感染症対策に係るネットワークの標準モデルを検証・推進するための研究	田辺 正樹	医学部附属病院	4,516,000	補委	厚生労働省	
レセプトデータベース(NDB)の利用を容易にするための包括的支援システムの開発	田辺 正樹	医学部附属病院	300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
アポクリン癌を含むアポクリン病変診断の分子病理学的再構築	小塚 祐司	医学部附属病院	1,800,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
ポリオウイルスによる神経芽腫の新しい治療の研究	豊田 秀実	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
肺動脈性肺高血圧の血管病変形成への血管平滑筋と炎症の関与 :ゲノム編集技術の応用	三谷 義英	医学部附属病院	1,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日

食塩感受性高血圧モデルにおけるSGLT2阻害の心不全進展抑制効果の検討	土肥 薫	医学部附属病院	1,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
肺線維症とマイクrobiオームの関連に関する研究	中原 博紀	医学部附属病院	1,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
新規培養法を用いたヒトリンパ球系分化制御および腫瘍化の分子遺伝学的研究	大石 晃嗣	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
遊離癌細胞の生着能を利用した転移機形成序解明とあらたなHIPEC治療適応の確立	安田 裕美	医学部附属病院	1,600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
食道癌特異的分泌型エキソソームを標的とした多目的バイオマーカーの確立	大井 正貴	医学部附属病院	1,800,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
敗血症患者における血小板内環状RNAの解析	境 倫宏	医学部附属病院	1,280,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
ウェアラブルセンサーを用いたICU医療者のコミュニケーション活性度の解析	今井 寛	医学部附属病院	1,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
エキソソーム型トロンボモジュリンによる敗血症治療	川本 英嗣	医学部附属病院	1,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
糖尿病網膜症の進行阻止における血液凝固関連因子が果たす新たな機能の解明	杵本 昌彦	医学部附属病院	1,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
悪性腫瘍におけるPDE2細胞内情報伝達複合体を標的とした新規個別化治療の探索	村田 琢	医学部附属病院	1,600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
口腔悪性黒色腫新治療薬の開発-PDE1阻害剤の臨床応用を目指して	清水 香澄	医学部附属病院	1,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
マイクロMRIによる剖検脳撮像を利用した脳小血管病の病理研究と臨床MRIへの応用	石川 英洋	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
直腸癌放射線治療におけるアプスコバル効果のEpigeneticな機序解明	井出 正造	医学部附属病院	900,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
膵切除術後の残膵外内分泌機能のCTを用いた新規評価法の探索とその応用	飯澤 祐介	医学部附属病院	400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
非ウイルス性肝細胞癌の病態解明を目的としたトランスレーショナル・リサーチ	加藤 宏之	医学部附属病院	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
ヒト脳脊髄液プロテオームによる全身麻酔後認知機能障害に対する創薬標的の網羅的探索	中森 裕毅	医学部附属病院	2,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
集中治療後症候群の早期診断のためのウェアラブルによるICU患者継続的モニタリング	江角 亮	医学部附属病院	1,500,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
ステント留置に伴う脳動脈瘤内血行力学的変化の多孔質媒体を用いた数値流体力学解析	辻 正範	医学部附属病院	1,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
脳梗塞後、ペントラキシン3を起点とした新たな治療法の開発	新堂 晃大	医学部附属病院	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
癌間質と去勢抵抗性前立腺癌;スプライシング/バリエーション制御による新規治療戦略の開発	佐々木 豪	医学部附属病院	1,900,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
子宮筋腫症不妊に対するPDE5阻害薬の効果と酸化ストレスへの影響	前沢 忠志	医学部附属病院	1,500,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
パーキンソン病で出現する構音障害の画像特徴-脳画像解析による出現機序の解明-	上田 有紀人	医学部附属病院	2,600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
診療関連エラーに関する考え方およびその検出法の検討	兼児 敏浩	医学部附属病院	150,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
中枢神経系機能性疾患における三者間シナプス伝達機能障害仮説の構築	岡田元宏	医学系研究科	2,250,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
血栓症発症を予測するために、前血栓状態/過凝固症の検討	和田英夫	医学系研究科	1,105,951	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
膵癌に対する化学放射線治療が癌微小環境に与える影響の探索と治療への応用	村田泰洋	医学系研究科	600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
HF10ウイルスの抗腫瘍効果における新たな免疫因子の役割	珠玖洋	医学系研究科	200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
ナノゲルハイブリッド材料の創製と医療応用	珠玖洋	医学系研究科	3,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日



がん微小環境の免疫抑制機構に抵抗性のCAR-T細胞による固形がん治療	王立楠	医学系研究科	1,101,800	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
新規免疫応答測定法を利用した複合療法開発への基盤研究	宮原慶裕	医学系研究科	838,834	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
嗅球における新規細胞間接着機構の解明	藤原武志	医学系研究科	63,240	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
ケモカインと神経伝達物質による骨髄由来単球系細胞制御と炎症関連大腸癌の発症抑制	榊屋正浩	医学系研究科	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
掌握運動が左室駆出率が保持された心不全患者の血圧や運動耐容能に与える効果の検討	藤本直紀	医学系研究科	2,917,105	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
高解像度3次元血管壁MRIによる頸部頸動脈プラークの定量法の開発	前田正幸	医学系研究科	1,612,409	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
snoRNAを用いた新たな胃癌診断・予後マーカーの確立	今岡 裕基	医学系研究科	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
直腸癌術前化学放射線療法による癌間質変化と治療抵抗性・再発機序の解明	三枝 晋	医学系研究科	200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
大腸癌における新規免疫治療PD-1/PD-L1経路阻害剤の効果予測マーカーの検証	廣純一郎	医学系研究科	1,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
生体蛍光染色剤とレーザー内視顕微鏡によるリアルタイム光学的組織診断法の開発	田中光司	医学系研究科	900,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
肝虚血再灌流障害におけるPAR-1とS1PR1の作用機序の解明	栗山直久	医学系研究科	700,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
新たなコンセプトに基づいたph反応性リポソームによる悪性骨軟部腫瘍への治療戦略	浅沼邦洋	医学系研究科	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
全エクソーム解析による原発性線毛運動不全症の原因遺伝子の探索	竹内万彦	医学系研究科	1,474,234	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
網膜電図装置RETevalで測定したフリッカERGの健常者における基準値の解明	加藤久美子	医学系研究科	1,957,322	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
イカ巨大軸索・マウス軸索を用いた即時軸索機能回復のための軸索融合法に関する研究	成島三長	医学系研究科	2,144,967	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
マイクロMRIを応用したアミロイド血管症と微小病変のex vivoイメージング	富本秀和	医学系研究科	1,808,536	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
疲労・細胞外小胞マーカーを用いた心身双方の疾患予防に関する調査・介入研究	江口暁子	医学系研究科	700,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
中壮年からのロコモ検診、ロコモ予防	西村明展	医学系研究科	900,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
十二指腸濾胞性リンパ腫における腫瘍形成機構の解明と腫瘍起源の探索	宮崎香奈	医学系研究科	900,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
アルコール性肝障害における動脈硬化発症機序の解明:肝由来小胞体封入病態情報の関与	竹井謙之	医学系研究科	1,600,666	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
浸潤性膵管癌の生物学的悪性度からみた新規臨床病期システムの確立とその治療応用	伊佐地秀司	医学系研究科	700,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
膠原病関連境界型肺高血圧症の進行予測因子の同定と早期治療効果に関する検討	山田典一	医学系研究科	1,620,595	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
MUC5B過剰発現マウスを用いた肺線維症の病態解明と治療法の開発	田口修	医学系研究科	1,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
WT1を標的とした急性骨髄性白血病のキメラ抗原受容体発現T細胞療法への基盤構築	片山直之	医学系研究科	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
新規キメラ型抗原受容体遺伝子を用いる成人T細胞白血病に対する免疫療法	藤原弘	医学系研究科	699,921	補委	国立大学法人 愛媛大学	愛媛大学
BMP2遺伝子改変ラットを用いた肺高血圧血管病変形成機序の解明	澤田博文	医学系研究科	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
重症皮膚炎の合併症としての関節症、内臓病変の成因の追求と治療法の検討	山中恵一	医学系研究科	1,100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
Abscopal効果の効果的な照射/ワクチン最適注射臓器の探索	渡辺隆	医学系研究科	904,874	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日

エクソソームに包埋された核酸を用いた胃癌早期診断法の確立	吉山繁幸	医学系研究科	700,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
腫瘍関連好中球に着目した胃癌リンパ節転移機構の解明と新規治療法の開発	毛利靖彦	医学系研究科	1,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
3次元血流領域における流れの複雑性の定量による脳動脈瘤増大・破裂機序の解明	鈴木秀謙	医学系研究科	1,500,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
テネシンCのドメイン(TNIII A2)を用いた軟骨治療への応用	長谷川正裕	医学系研究科	1,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
麻酔手技の定量化と人工知能を用いた自動解析による学習効果の判定に関する研究	宮部雅幸	医学系研究科	2,108,602	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
実験的肺高血圧に対するTRPVチャネルを標的とした解析と治療	丸山一男	医学系研究科	1,451,374	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
前立腺増殖機構の安定化を目指した間質分化誘導療法の開発	杉村芳樹	医学系研究科	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
嗅粘膜移植と炎症制御による神経再生を併用する神経性嗅覚障害の新規治療法開発研究	小林正佳	医学系研究科	1,730,830	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
皮膚電極網膜電図装置を用いた網膜内層機能の評価とその汎用性の検討	生杉謙吾	医学系研究科	1,514,060	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
多職種連携カンファレンスに必要なとされる看護師の能力と基礎看護教育の役割の明確化	後藤道子	医学系研究科	97,473	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
リケッチア感染症のTh2免疫系の抑制機序に関する研究	近藤誠	医学系研究科	1,600,010	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
ガン悪液質による骨格筋萎縮に対するNF $\kappa$ BDecoyONDの効果の検討	塚本正	医学系研究科	1,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
音楽の認知症予防・進行抑制作用の機序の解明と音楽療法プログラムの開発	田部井賢一	医学系研究科	341,904	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
視細胞変性疾患における網膜電図(ERG)の新しい概念確立に関する研究	近藤峰生	医学系研究科	2,272,222	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
遺伝性網膜疾患の中型-大型動物モデルの拠点形成と新規治療法開発	近藤峰生	医学系研究科	3,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
おいしさを形成する多感覚統合の解明	小林正佳	医学系研究科	400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
イモリ型の臓器再生を可能にする体細胞リプログラミング因子の解明と医学への展開	成島三長	医学系研究科	1,000,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
病理診断確定症例家系に依拠した紀伊ALS・パーキンソン認知症複合の疾患概念確立	佐々木良元	医学系研究科	100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
人工知能により冠動脈MRAから冠血流予備量比を計測するMR-FFR法の開発	佐久間肇	医学系研究科	1,500,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
一次線毛動態制御による新たな膀胱癌治療法の開発	山田玲子	医学系研究科	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
副腎アルドステロン産生に対するバソプレシンV2受容体拮抗薬の新しい薬理作用の解明	伊藤正明	医学系研究科	900,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
周産期心筋症の早期診断のためのバイオマーカー検査確立研究	池田智明	医学系研究科	20,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
肺静脈閉塞症類似実験的肺高血圧における肺静脈・肺細静脈の病態解析	丸山一男	医学系研究科	300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
白血球発症過程におけるDNA脱メチル化関連分子の果たす機能的役割の統合的理解	小埜良一	医学系研究科	700,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
白血病に対するネオアンチゲン特異的な革新的遺伝子改変ヘルパーT細胞療法の開発	藤原弘	医学系研究科	1,300,000	補委	国立大学法人 愛媛大学	愛媛大学
胃癌腹膜播種進展におけるRNA後天的修飾の意義	沖上正人	医学系研究科	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
潰瘍性大腸炎関連癌におけるRNAメチル化マーカーの臨床的意義	井上靖浩	医学系研究科	1,600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
アプスコバル効果の概念から考案した腹腔内温熱化学療法の有効性の検討	三木誓雄	医学系研究科	800,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日

胃癌における臓器特異性転移におけるエピゲノムの新たな役割解明	川村幹雄	医学系研究科	1,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
原子間力顕微鏡を用いた血管の「硬さ」測定による動脈硬化病変の評価法の確立	松尾映里	医学系研究科	1,600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
全ての下肢骨関節における運動器疾患とロコモ・介護度・運動機能との関連性	須藤啓広	医学系研究科	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
総合診療専門医養成プログラムにおけるビデオレビューを用いた教育システムの構築	後藤道子	医学系研究科	1,200,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
4年間の地域包括的ケア体験学習プログラムの構築と看護OSCEによる評価	後藤道子	医学系研究科	100,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
ヒトT細胞エクソソームのmiRNAsによるISG誘導作用とがん間質抑制機構の解明	百瀬文康	医学系研究科	1,600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
iPS細胞からミュー管細胞への分化機序の解明:新規不妊治療法の創出を目指して	武内大輝	医学系研究科	1,400,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
超微小血管外科手術による動物リンパ液鬱滞モデル作成とリンパ浮腫発生機序の解明	石浦良平	医学系研究科	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
エクソソームのがん間質傷害作用を利用した腫瘍浸潤がん細胞傷害性T細胞の最適化	瀬尾尚宏	医学系研究科	2,900,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
大腸癌発癌pathwayから検証した大腸癌前癌病変の非侵襲的血清診断法の確立	楠正人	医学系研究科	900,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会	日
網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	近藤峰生	医学系研究科	400,000	補委	厚生労働省	
自己免疫性出血症治療の「均てん化」のための実態調査と「総合的」診療指針の作成	和田英夫	医学系研究科	500,000	補委	厚生労働省	
学校の療養生活の場における医療的ケア児への質の高い医療的ケアの提供に資する研究	岩本彰太郎	医学系研究科	970,000	補委	厚生労働省	
小児がん拠点病院等の連携による移行期を含めた小児がん医療提供体制整備に関する研究	平山雅浩	医学系研究科	300,000	補委	厚生労働省	
乳幼児突然死症候群(SIDS)を含む睡眠中の乳幼児死亡を予防するための効果的な施策に関する研究	加藤稲子	医学系研究科	600,000	補委	厚生労働省	
特発性大腿骨頭壊死症の医療水準及び患者のQOL向上に関する大規模多施設研究	須藤啓広	医学系研究科	100,000	補委	厚生労働省	
慢性的痛み診療・教育の基盤となるシステム構築に関する研究	丸山一男	医学系研究科	200,000	補委	厚生労働省	
周産期医療の質の向上に寄与するための、妊産婦及び新生児の管理と診療連携体制	池田智明	医学系研究科	4,539,000	補委	厚生労働省	
産婦死亡に関する情報の管理体制の構築及び予防介入の展開に向けた研究	池田智明	医学系研究科	3,231,000	補委	厚生労働省	
地域総活躍社会のための慢性疼痛医療者育成	丸山一男	医学系研究科	12,675,000	補委	文部科学省	
高度がん医療を先導するがん医療人養成	片山直之	医学系研究科	18,140,000	補委	文部科学省(国立 大学法人京都大 学)	
三重県プライマリ・ケアセンター事業	竹村洋典	医学系研究科	9,455,000	補委	三重県	
医療・介護資源の不足する地域における多職種連携推進事業委託	竹村洋典	医学系研究科	1,490,000	補委	三重県	
T細胞エクソソームによるがん転移阻害剤	珠玖洋	医学系研究科	48,349,000	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構	
難治性肉腫に対するワクチン併用TCR遺伝子改変T細胞輸注療法の実施共同医師主導治験	影山慎一	医学系研究科	87,226,976	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構	
糖鎖を基軸とするエクソソームの多様性解析と生体応答・制御のための基盤研究	瀬尾尚宏	医学系研究科	14,000,000	補委	国立研究開発法人 科学技術振興機構	
T細胞レセプター疑似抗体及びGITR細胞内ドメインを利用した革新的CAR-T細胞輸注療法の開発	宮原慶裕	医学系研究科	77,000,000	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構	
認知症疾患医療センターの患者分析による連携機能の強化	富本秀和	医学系研究科	923,077	補委	国立研究開発法人 国立長寿医療研究 センター	

妊娠高血圧症候群と胎児発育不全の克服を目的とした、ホスホジエステラーゼ5阻害剤タダラフィルによる新規予防法と治療法の開発	池田智明	医学系研究科	1,904,570	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
高齢者における聴覚障害と総合機能・認知機能の包括的評価: 難聴補正による認知症予防を目指した研究	富本秀和	医学系研究科	307,493	補委	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
高齢者における聴覚障害と総合機能・認知機能の包括的評価: 難聴補正による認知症予防を目指した研究	竹内万彦	医学系研究科	307,693	補委	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
周産期心筋症レジストリ研究(臨床データ・患者生体試料収集)の継続実施と国循バイオバンク連携体制の構築	池田智明	医学系研究科	600,000	補委	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
特発性血栓症発症における各遺伝子変異のリスク度評価を通じた病態解明	和田英夫	医学系研究科	1,000,000	補委	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
高齢者における認知症や脳血管障害の発症に脳小血管病が関与する臨床的意義の解明	富本秀和	医学系研究科	600,000	補委	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
難治性遺伝性視神経症に対するヒト多能性幹細胞由来視神経細胞を用いた神経保護薬の創薬	近藤峰生	医学系研究科	3,000,000	補委	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター
Interim PETに基づく初発進行期ホジキンリンパ腫に対するABVD療法およびABVD/増量BEACOPP療法の非ランダム化検証的試験: JCOG1305試験	宮崎香奈	医学系研究科	700,000	補委	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
遠隔臓器間の病態伝播を担う内在性微粒子 microparticle の機能解明	江口暁子	医学系研究科	11,804,000	補委	国立研究開発法人 科学技術振興機構
成人T細胞白血病/リンパ腫に対する遺伝子改変細胞輸注療法	宮原慶裕	医学系研究科	4,471,800	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
乳幼児期に発症する疾患・障害の早期発見と予防的支援手法に関する研究開発ー視覚障害について	近藤峰生	医学系研究科	800,000	補委	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター
間葉系がん間質に影響を与えるマイクロ(mi)RNAの同定とその臨床応用	瀬尾尚宏	医学系研究科	3,000,000	補委	国立大学法人名古屋大学
妊娠糖尿病・糖尿病合併妊娠の妊娠転帰および母児の長期予後に関する登録データベース構築によるフィールドトライアル	池田智明	医学系研究科	2,000,000	補委	国立大学法人愛媛大学
母子感染に対する母子保健体制構築と医療技術のための研究	池田智明	医学系研究科	500,000	補委	国立大学法人 東京大学
がん細胞の遺伝子変異を認識する腫瘍浸潤リンパ球のTCRレパートリと認識抗原解析に基づく効果予測法の確立と、同定TCRによる革新的な個別がん免疫療法の開発	片山直之	医学系研究科	2,500,000	補委	国立大学法人長崎大学
ATLLに対するTCR遺伝子導入リンパ球輸注療法の第I相医師主導治験	珠玖洋	医学系研究科	2,307,700	補委	国立大学法人長崎大学
小児骨髄系腫瘍に対する標準的治療法の確立	岩本彰太郎	医学系研究科	1,923,077	補委	国立大学法人京都大学
AML-D16臨床試験における微小残存病変(MRD)の測定	岩本彰太郎	医学系研究科	1,000,000	補委	国立大学法人 滋賀医科大学
生体肝移植後の肝癌発生と肝炎治療	伊佐地秀司	医学系研究科	153,847	補委	学校法人福岡歯科大学
食支援活動と地域連携の充実に向けた研究にかかわるサポート	若林英樹	医学系研究科	384,615	補委	三重県農業協同組合
ATL に対するT細胞受容体遺伝子導入細胞療法の開発のためのT細胞	珠玖洋	医学系研究科	769,232	補委	学校法人自治医科大学
難治性がんの有効なナノ工学と免疫療法の融合療法の開発	珠玖洋	医学系研究科	1,552,314	補委	国立大学法人京都大学
平成30年度生活習慣病予防重点プロジェクト特定健診受診率向上事業委託業務	伊藤正明	医学系研究科	26,306,000	補委	名張市
平成30年度先天性代謝異常等検査事業業務委託(先天性甲状腺機能低下症)	平山雅浩	医学系研究科	9,195,120	補委	三重県
平成30年度先天性代謝異常等検査事業業務委託(先天性副腎過形成症)	平山雅浩	医学系研究科	9,195,120	補委	三重県
糖鎖利用による革新的創薬技術開発事業	富本秀和	医学系研究科	1,826,923	補委	公立大学法人 福島県立医科大学

計 247 件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Shiba M, Toma N, Tanioka S, et al.	脳神経外科	Significance of novel subcortical low intensity score on transient neurological events after revascularization surgery for moyamoya disease.	Clin Neurol Neurosurg. 2018 Apr 167:70-75. doi: 10.1016/j.clineuro.2018.02.019. Epub 2018 Feb 12.	Journal Article
2	Mizuno T, Sakakibara T, Yoshikawa T, et al.	脊椎外科・医療工学	Biomechanical Problems Related to the Pedicle Screw System.	Turk Neurosurg. 2019 29(1):53-58. doi: 10.5137/1019-5149.JTN.21002-17.2.	Journal Article
3	Konuma T, Sakamoto S, Toba S, et al.	胸部心臓血管外科	Novel aortic arch reconstruction using a modified Norwood procedure based on hypoplastic left heart syndrome-specific anatomical malformations.	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2018 Aug 1 27(2):243-249. doi: 10.1093/icvts/ivy047.	Journal Article
4	Iwasa M, Karino Y, Kawaguchi T, et al.	消化器肝臓内科	Relationship of muscle cramps to quality of life and sleep disturbance in patients with chronic liver diseases: A nationwide study.	Liver Int. 2018 Dec 38(12):2309-2316. doi: 10.1111/liv.13745. Epub 2018 May 30.	Journal Article
5	Yamaguchi M, Suzuki R, Kim SJ, et al.	血液・腫瘍内科	Early disease progression in patients with localized natural killer/T-cell lymphoma treated with concurrent chemoradiotherapy.	Cancer Sci. 2018 Jun 109(6):2056-2062. doi: 10.1111/cas.13597. Epub 2018 Apr 28.	Journal Article
6	Yamaguchi M, Suzuki R, Oguchi M.	血液・腫瘍内科	Advances in the treatment of extranodal NK/T-cell lymphoma, nasal type.	Blood. 2018 Jun 7 131(23):2528-2540. doi: 10.1182/blood-2017-12-791418. Epub 2018 Mar 30. Review.	Review

7	Matsumoto T, Toyoda H, Amano K, et al.	輸血・細胞治療部	Clinical Manifestation of Patients With Atypical Hemolytic Uremic Syndrome With the C3 p.I1157T Variation in the Kinki Region of Japan.	Clin Appl Thromb Hemost. 2018 Nov 24(8):1301-1307. doi: 10.1177/1076029618771750. Epub 2018 Apr 25.	Journal Article
8	Makoto I, Usui M, Wada H, et al.	中央検査部	Congenital Thrombophilia in Patients With Superior Mesenteric Venous Thrombosis or Portal Vein Thrombosis.	Clin Appl Thromb Hemost. 2018 Oct 24(7):1117-1121. doi: 10.1177/1076029618774146. Epub 2018 May 10.	Journal Article
9	Ouchi T, Kato N, Nakajima K, et al.	放射線科	Splenic Artery Aneurysm Treated With Endovascular Stent Grafting: A Case Report and Review of Literature.	Vasc Endovascular Surg. 2018 Nov 52(8):663-668. doi: 10.1177/1538574418785252. Epub 2018 Jun 25. Review.	Case Report, Review
10	Ichikawa Y, Tomita Y, Ishida M, et al.	放射線科	Usefulness of abdominal belt for restricting respiratory cardiac motion and improving image quality in myocardial perfusion PET.	J Nucl Cardiol. 2018 Apr 25(2):407-415. doi: 10.1007/s12350-016-0623-z. Epub 2016 Aug 17.	Journal Article
11	Tanioka S, Toma N, Sakaida H, et al.	脳神経外科	A case of arteriovenous fistula of the cauda equina fed by the proximal radicular artery: anatomical features and treatment precautions.	Eur Spine J. 2018 Jul 27(Suppl 3):281-286. doi: 10.1007/s00586-017-5129-0. Epub 2017 May 13.	Case Report
12	Araki T, Hashimoto K, Okita Y, et al.	消化管・小児外科	Colonic Histological Criteria Predict Development of Pouchitis after Ileal Pouch: Anal Anastomosis for Patients with Ulcerative Colitis.	Dig Surg. 2018 35(2):138-143. doi: 10.1159/000477268. Epub 2017 Jun 30.	Journal Article
13	Sawai T, Ikezawa M, Hirota A, et al.	循環器・腎臓内科	Large Non-Bacterial Vegetation Causing Acute Aortic Regurgitation - Unexpected Finding at Autopsy.	Circ J. 2018 Aug 24 82(9):2378-2379. doi: 10.1253/circj.CJ-17-1039. Epub 2018 Feb 23. No abstract available.	Journal Article

14	Ishii K, Takahashi S, Sugimura Y, Watanabe M.	腫瘍病理学	Role of Stromal Paracrine Signals in Proliferative Diseases of the Aging Human Prostate.	J Clin Med. 2018 Apr 2 7(4). pii: E68. doi: 10.3390/jcm7040068. Review.	Review
15	Tanaka H, Furuhashi FH, Toriyabe K, et al.	産科婦人科	Management of fetal growth restriction using the contraction stress test: a case- control study.	J Matern Fetal Neonatal Med. 2018 Apr 18 1-5. doi: 10.1080/14767058.2018.1 461313. [Epub ahead of print]	Journal Article
16	Ito A, Takao M, Shimamoto A, Shimpo H.	胸部心臓血管外科	Primary racemose hemangioma with bronchial-pulmonary arterial fistula.	Respirol Case Rep. 2018 Apr 1 6(5):e00314. doi: 10.1002/rcr2.314. eCollection 2018 Jul.	Case Report
17	Nunome T, Sugimoto M, Kondo M, Suto C.	眼科	Short-Term Results of Intravitreal Triamcinolone Acetonide Combined with Cataract Surgery for Diabetic Macular Edema in Japan: In the Era of Anti- Vascular Endothelial Growth Factor Therapy.	Ophthalmologica. 2018 240(2):73-80. doi: 10.1159/000487548. Epub 2018 Apr 5.	Journal Article
18	Yamakawa D, Jia W, Kidoya H, et al.	小児科	Visualization of Proliferative Vascular Endothelial Cells in Tumors in Vivo by Imaging Their Partner of Sld5-1 Promoter Activity.	Am J Pathol. 2018 May 188(5):1300-1314. doi: 10.1016/j.ajpath.2018.01. 015. Epub 2018 Apr 9.	Journal Article
19	Imai N, Kitayama M, Shibahara A, et al.	乳腺外科	Strategy for the accurate preoperative evaluation of the number of metastatic axillary lymph nodes in breast cancer.	Asian J Surg. 2019 Jan 42(1):228-234. doi: 10.1016/j.asjsur.2018.03. 003. Epub 2018 Apr 14.	Journal Article
20	Magawa S, Tanaka H, Nii M, et al.	産科婦人科	In utero spontaneous bladder rupture in a fetus with posterior urethral valve: A case report of prenatal diagnosis and management.	J Obstet Gynaecol Res. 2018 Jul 44(7):1318-1321. doi: 10.1111/jog.13646. Epub 2018 Apr 19.	Case Report

21	Tanaka H, Kamiya C, Katsuragi S, et al.	産科婦人科	Effect of epidural anesthesia in labor; pregnancy with cardiovascular disease.	Taiwan J Obstet Gynecol. 2018 Apr 57(2):190-193. doi: 10.1016/j.tjog.2018.02.004.	Journal Article
22	Yoshizawa N, Inoue H, Yamada R, et al.	消化器肝臓内科	Pancreatic Burkitt's lymphoma presenting as an unusual cause of obstructive jaundice.	J Dig Dis. 2018 Aug 19(8):508-510. doi: 10.1111/1751-2980.12601. Epub 2018 May 29. No abstract available.	Letter
23	Kobayashi M, Tamari K, Al Salihi MO, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Anti-high mobility group box 1 antibody suppresses local inflammatory reaction and facilitates olfactory nerve recovery following injury.	J Neuroinflammation. 2018 Apr 26 15(1):124. doi: 10.1186/s12974-018-1168-7.	Journal Article
24	Tabei KI, Satoh M, Ogawa JI, et al.	認知症医療学	Cognitive Function and Brain Atrophy Predict Non-pharmacological Efficacy in Dementia: The Mihama-Kiho Scan Project2.	Front Aging Neurosci. 2018 Apr 12 10:87. doi: 10.3389/fnagi.2018.00087 . eCollection 2018.	Journal Article
25	Ishii K, Sasaki T, Iguchi K, et al.	腎泌尿器外科	Interleukin-6 induces VEGF secretion from prostate cancer cells in a manner independent of androgen receptor activation.	Prostate. 2018 Aug 78(11):849-856. doi: 10.1002/pros.23643. Epub 2018 Apr 29.	Journal Article
26	Kondo M, Goto H, Miyazaki M, et al.	皮膚科	Comparison of positive ratio for red meat-specific immunoglobulin E between endemic and non-endemic area for Japanese spotted fever in Mie Prefecture, Japan.	J Dermatol. 2018 Nov 45(11):e311-e313. doi: 10.1111/1346-8138.14354. Epub 2018 May 3. No abstract available.	Letter
27	Kogue R, Maeda M, Umino M, et al.	放射線科	Small high-signal lesions posterior to the intracranial vertebral artery incidentally identified by 3D FLAIR: retrospective study of 127 patients.	Neuroradiology. 2018 Jun 60(6):591-597. doi: 10.1007/s00234-018-2027-z. Epub 2018 May 3.	Journal Article



28	Kanemitsu S, Sakamoto S, Yamamoto N, et al.	胸部心臟血管外科	Valve repair for tricuspid papillary muscle rupture late after percutaneous coronary intervention.	Eur J Cardiothorac Surg. 2018 Nov 1 54(5):959-961. doi: 10.1093/ejcts/ezy175.	Journal Article
29	Akeda K, Yamaguchi S, Matsushita T, et al.	整形外科	Bioactive pedicle screws prepared by chemical and heat treatments improved biocompatibility and bone-bonding ability in canine lumbar spines.	PLoS One. 2018 May 7 13(5):e0196766. doi: 10.1371/journal.pone.0196766. eCollection 2018.	Journal Article
30	Goto I, Okamoto R, Hashizume R, et al.	循環器・腎臓内科	Renal papillary tip extract stimulates BNP production and excretion from cardiomyocytes.	PLoS One. 2018 May 7 13(5):e0197078. doi: 10.1371/journal.pone.0197078. eCollection 2018.	Journal Article
31	Fujita S, Fujii E, Kagawa Y, et al.	循環器・腎臓内科	The seamless integration of three-dimensional rotational angiography images into electroanatomical mapping systems to guide catheter ablation of atrial fibrillation.	Heart Vessels. 2018 Nov 33(11):1373-1380. doi: 10.1007/s00380-018-1180-y. Epub 2018 May 7.	Journal Article
32	Toiyama Y, Okugawa Y, Boland CR, et al.	消化管・小児外科	Reply.	Gastroenterology. 2018 Jun 154(8):2274-2275. doi: 10.1053/j.gastro.2018.05.013. Epub 2018 May 8. No abstract available.	Letter, Comment
33	Moriwaki K, Takeuchi T, Fujimoto N, et al.	循環器・腎臓内科	Effect of Sitagliptin on Coronary Flow Reserve Assessed by Magnetic Resonance Imaging in Type 2 Diabetic Patients With Coronary Artery Disease.	Circ J. 2018 Jul 25 82(8):2119-2127. doi: 10.1253/circj.CJ-18-0083. Epub 2018 May 12.	Journal Article
34	Okugawa Y, Toiyama Y, Yamamoto A, et al.	消化管・小児外科	Clinical Impact of Muscle Quantity and Quality in Colorectal Cancer Patients: A Propensity Score Matching Analysis.	JPEN J Parenter Enteral Nutr. 2018 Nov 42(8):1322-1333. doi: 10.1002/jpen.1171. Epub 2018 May 15.	Journal Article

35	Okugawa Y, Toiyama Y, Ichikawa T, et al.	消化管・小児外科	Colony-stimulating factor-1 and colony-stimulating factor-1 receptor co-expression is associated with disease progression in gastric cancer.	Int J Oncol. 2018 Aug 53(2):737-749. doi: 10.3892/ijo.2018.4406. Epub 2018 May 16.	Journal Article
36	Murata K, Akeda K, Takegami N, et al.	整形外科	Morphology of intervertebral disc ruptures evaluated by vacuum phenomenon using multi-detector computed tomography: association with lumbar disc degeneration and canal stenosis.	BMC Musculoskelet Disord. 2018 May 24 19(1):164. doi: 10.1186/s12891-018-2086-7.	Journal Article
37	Nishimura A, Ito N, Nakazora S, et al.	整形外科	Does hallux valgus impair physical function?	BMC Musculoskelet Disord. 2018 May 29 19(1):174. doi: 10.1186/s12891-018-2100-0.	Journal Article
38	Nagaharu K, Masuya M, Kageyama Y, et al.	血液・腫瘍内科	Successful treatment of primary bone marrow Hodgkin lymphoma with brentuximab vedotin: a case report and review of the literature.	J Med Case Rep. 2018 May 30 12(1):151. doi: 10.1186/s13256-018-1693-0. Review.	Case Report, Review
39	Suzuki K, Wada H, Imai H, et al.	救命救急センター	A re-evaluation of the D-dimer cut-off value for making a diagnosis according to the ISTH overt-DIC diagnostic criteria: communication from the SSC of the ISTH.	J Thromb Haemost. 2018 Jul 16(7):1442-1444. doi: 10.1111/jth.14134. Epub 2018 May 30. No abstract available.	Journal Article
40	Hagi T, Nakamura T, Sugino Y, et al.	整形外科	Is FDG-PET/CT Useful for Diagnosing Pulmonary Metastasis in Patients with Soft Tissue Sarcoma?	Anticancer Res. 2018 Jun 38(6):3635-3639. doi: 10.21873/anticancer.12638.	Journal Article
41	Toiyama Y, Okugawa Y, Fleshman J, et al.	消化管・小児外科	MicroRNAs as potential liquid biopsy biomarkers in colorectal cancer: A systematic review.	Biochim Biophys Acta Rev Cancer. 2018 Dec 1870(2):274-282. doi: 10.1016/j.bbcan.2018.05.006 Epub 2018 May 29. Review.	Review

42	Okada T, Kawakita F, Nishikawa H, et al.	脳神経外科	Selective Toll-Like Receptor 4 Antagonists Prevent Acute Blood-Brain Barrier Disruption After Subarachnoid Hemorrhage in Mice.	Mol Neurobiol. 2019 Feb 56(2):976-985. doi: 10.1007/s12035-018- 1145-2. Epub 2018 May 31.	Journal Article
43	Toyomasu Y, Demizu Y, Matsuo Y, et al.	放射線科	Outcomes of Patients With Sinonasal Squamous Cell Carcinoma Treated With Particle Therapy Using Protons or Carbon Ions.	Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2018 Aug 1 101(5):1096-1103. doi: 10.1016/j.ijrobp.2018.04. 041. Epub 2018 Apr 22.	Journal Article
44	Yoshiyama S, Toiyama Y, Ichikawa T, et al.	消化管・小児外科	Laparoscopic diagnosis of retrograde peristalsis and intussusception in Roux-en-Y limb after laparoscopic gastrectomy: A case report.	Asian J Endosc Surg. 2019 Apr 12(2):171-174. doi: 10.1111/ases.12611. Epub 2018 Jun 5.	Case Report
45	Matsumoto T, Wada H, Toyoda H, et al.	輸血・細胞治療部	Modified clot waveform analysis to measure plasma coagulation potential in the presence of the anti- factor IXa/factor X bispecific antibody emicizumab: comment.	J Thromb Haemost. 2018 Jun 7. doi: 10.1111/jth.14190. [Epub ahead of print] No abstract available.	Letter
46	Nakamura T, Kusuzaki K, Matsubara T, et al.	整形外科	Long-term clinical outcome in patients with high-grade soft tissue sarcoma who were treated with surgical adjuvant therapy using acridine orange after intra-lesional or marginal resection.	Photodiagnosis Photodyn Ther. 2018 Sep 23:165-170. doi: 10.1016/j.pdpdt.2018.06. 001. Epub 2018 Jun 7.	Journal Article
47	Furuhashi FH, Tanaka H, Kaneda MK, et al.	産科婦人科	Safety trial of tadalafil administered for the treatment of preeclampsia.	J Matern Fetal Neonatal Med. 2018 Jul 22 1-4. doi: 10.1080/14767058.2018.1 487946. [Epub ahead of print]	Journal Article
48	Yoshizawa N, Yamada R, Sakuno T, et al.	消化器肝臓内科	Comparison of endoscopic ultrasound-guided fine- needle aspiration and biopsy with 22-gauge and 25-gauge needles for the "precision medicine" of pancreatic cancer: A retrospective study.	Medicine (Baltimore). 2018 Jun 97(24):e11096. doi: 10.1097/MD.0000000000 011096.	Journal Article

49	Yada I, Wada H, Shinoda M, et al.	胸部心臓血管外科	Correction to: Thoracic and cardiovascular surgery in Japan during 2001 : Annual report by the Japanese Association for Thoracic Surgery.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2018 Aug 66(8):495-498. doi: 10.1007/s11748-018-0945-7.	Journal Article
50	Nakamura S, Tsunoda S, Sakaida H, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Analysis of factors associated with cedar pollen sensitization and development of pollinosis in a young Japanese adult population.	Allergol Int. 2019 Jan 68(1):39-45. doi: 10.1016/j.alit.2018.05.006 . Epub 2018 Jun 13.	Journal Article
51	Tamura A, Wada H, Ikejiri M, et al.	脳神経内科	Major bleeding in a patient with warfarin-hypersensitive and factor IX propeptide variant, p.Ala37Thr, who was treated with a direct oral anti-Xa inhibitor.	Ann Hematol. 2019 Jan 98(1):209-210. doi: 10.1007/s00277-018-3398-2. Epub 2018 Jun 19. No abstract available.	Case Report, Letter
52	Matsuyama H, Ohi T.	脳神経内科	A case of cerebellar ataxia associated with VZV infection.	eNeurologicalSci. 2018 Apr 12 11:9-10. doi: 10.1016/j.ensci.2018.04.003. eCollection 2018 Jun.	Journal Article
53	Kobayashi Y, Eguchi A, Tempaku M, et al.	保健管理センター	Circulating extracellular vesicles are associated with lipid and insulin metabolism.	Am J Physiol Endocrinol Metab. 2018 Oct 1 315(4):E574-E582. doi: 10.1152/ajpendo.00160.2018. Epub 2018 Jun 26.	Journal Article
54	Tanaka K, Goto H, Nishimura Y, et al.	分子生理学	Tetraploidy in cancer and its possible link to aging.	Cancer Sci. 2018 Sep 109(9):2632-2640. doi: 10.1111/cas.13717. Epub 2018 Jul 26. Review.	Review
55	Noguchi M, Oshita S, Yamazoe N, et al.	家庭医療学	Important Clinical Features of Japanese Spotted Fever.	Am J Trop Med Hyg. 2018 Aug 99(2):466-469. doi: 10.4269/ajtmh.17-0576. Epub 2018 Jun 28.	Journal Article

56	Ishikawa H, Ii Y, Niwa A, et al.	脳神経内科	Comparison of Premortem Magnetic Resonance Imaging and Postmortem Autopsy Findings of a Cortical Microinfarct.	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2018 Oct 27(10):2623-2626. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2018.05.037. Epub 2018 Jul 1.	Case Report
57	Haruki A, Ishikawa E, Katayama K, et al.	循環器・腎臓内科	Spontaneous remission of adult-onset minimal change nephrotic syndrome associated with influenza B infection: a case report.	BMC Nephrol. 2018 Jul 4 19(1):162. doi: 10.1186/s12882-018-0961-y.	Journal Article
58	D'Alessandro-Gabazza CN, Kobayashi T, Gabazza EC.	免疫学	Risks of Treating Idiopathic Pulmonary Fibrosis with a TAM Receptor Kinase Inhibitor.	Am J Respir Crit Care Med. 2018 Oct 1 198(7):970-971. doi: 10.1164/rccm.201805-0871LE. No abstract available.	Journal Article
59	Morishita H, Kobayashi M, Takeuchi K.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Endoscopic endonasal transmaxillary ligation of a feeding artery and coblation plasma technology enables en bloc resection of advanced juvenile nasopharyngeal angiofibroma without preoperative embolization.	Auris Nasus Larynx. 2019 Apr 46(2):306-310. doi: 10.1016/j.anl.2018.06.007. Epub 2018 Jul 3.	Journal Article
60	Oda K, Ishikawa E, Ito T, et al.	循環器・腎臓内科	Improvement of Alveolar Hemorrhaging in an Elderly and Renally Impaired Patient with Relapsing Anti-neutrophil Cytoplasmic Autoantibody-associated Vasculitis by Single Infusion of Rituximab.	Intern Med. 2018 Nov 15 57(22):3267-3270. doi: 10.2169/internalmedicine.0936-18. Epub 2018 Jul 6.	Case Report
61	Mizoguchi S, Katayama K, Murata T, et al.	循環器・腎臓内科	IgM-Positive Tubulointerstitial Nephritis Associated With Asymptomatic Primary Biliary Cirrhosis.	Kidney Int Rep. 2018 Apr 11 3(4):1004-1009. doi: 10.1016/j.ekir.2018.04.001. eCollection 2018 Jul. No abstract available.	Case Report
62	Miyazaki K.	家庭医療学	Overdiagnosis or not? 2017 ACC/AHA high blood pressure clinical practice guideline: Consequences of intellectual conflict of interest.	J Gen Fam Med. 2018 May 31 19(4):123-126. doi: 10.1002/jgf2.176. eCollection 2018 Jul. Review.	Review

63	Miyoshi T, Hosoda H, Umekawa T, et al.	産科婦人科	Amniotic Fluid Natriuretic Peptide Levels in Fetuses With Congenital Heart Defects or Arrhythmias.	Circ J. 2018 Sep 25 82(10):2619-2626. doi: 10.1253/circj.CJ- 18-0235. Epub 2018 Jul 10.	Journal Article
64	Seo N, Akiyoshi K, Shiku H.	遺伝子・免疫細胞治療学	Exosome-mediated regulation of tumor immunology.	Cancer Sci. 2018 Oct 109(10):2998-3004. doi: 10.1111/cas.13735. Epub 2018 Aug 1. Review.	Review
65	Tamai Y, Iwasa M, Kawasaki Y, et al.	消化器肝臓内科	Ratio between estimated glomerular filtration rates of creatinine and cystatin C predicts overall survival in patients with hepatocellular carcinoma.	Hepato Res. 2019 Feb 49(2):153-163. doi: 10.1111/hepr.13230. Epub 2018 Aug 12.	Journal Article
66	Wada H, Matsumoto T, Suzuki K, et al.	検査医学	Differences and similarities between disseminated intravascular coagulation and thrombotic microangiopathy.	Thromb J. 2018 Jul 11 16:14. doi: 10.1186/s12959- 018-0168-2. eCollection 2018. Review.	Review
67	Ichikawa A, Kondo M, Yamanaka K.	皮膚科	Pyoderma gangrenosum reproduced by an electric current flow.	J Dermatol. 2019 Feb 46(2):e64-e66. doi: 10.1111/1346- 8138.14547. Epub 2018 Jul 16. No abstract available.	Letter
68	Umino M, Maeda M, Ii Y, et al.	放射線科	3D double inversion recovery MR imaging: Clinical applications and usefulness in a wide spectrum of central nervous system diseases.	J Neuroradiol. 2019 Mar 46(2):107-116. doi: 10.1016/j.neurad.2018.06. 002. Epub 2018 Jul 25. Review.	Review
69	Suzuki H, Nishikawa H, Kawakita F.	脳神経外科	Matricellular proteins as possible biomarkers for early brain injury after aneurysmal subarachnoid hemorrhage.	Neural Regen Res. 2018 Jul 13(7):1175-1178. doi: 10.4103/1673- 5374.235022. Review.	Review

70	Nakamura S, Kitagawa K, Goto Y, et al.	放射線科	Incremental Prognostic Value of Myocardial Blood Flow Quantified With Stress Dynamic Computed Tomography Perfusion Imaging.	JACC Cardiovasc Imaging. 2018 Jul 13. pii: S1936-878X(18)30511-4. doi: 10.1016/j.jcmg.2018.05.021. [Epub ahead of print]	Journal Article
71	Konuma T, Sakamoto S, Toba S, et al.	胸部心臓血管外科	A Novel Aortic Reconstruction for Anomalous Left Coronary Arising From the Right Pulmonary Artery in Hypoplastic Left Heart Syndrome: Successful Surgical Treatment.	Semin Thorac Cardiovasc Surg. 2018 Winter 30(4):456-459. doi: 10.1053/j.semtcvs.2018.07.010. Epub 2018 Jul 20.	Case Report
72	Suzuki H, Nakatsuka Y, Yasuda R, et al.	脳神経外科	Dose-Dependent Inhibitory Effects of Cilostazol on Delayed Cerebral Infarction After Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage.	Transl Stroke Res. 2018 Jul 23. doi: 10.1007/s12975-018-0650-y. [Epub ahead of print]	Journal Article
73	Hamaguchi N, Ishinaga H, Chiyonobu K, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	A Case of Pyriform Sinus Fistula with Respiratory Distress in the Neonatal Period.	Case Rep Otolaryngol. 2018 Jun 21 2018:1696875. doi: 10.1155/2018/1696875. eCollection 2018.	Case Report
74	Kawamoto E, Masui-Ito A, Eguchi A, et al.	分子病態学	Integrin and PD-1 Ligand Expression on Circulating Extracellular Vesicles in Systemic Inflammatory Response Syndrome and Sepsis.	Shock. 2018 Jul 20. doi: 10.1097/SHK.0000000000001228. [Epub ahead of print]	Journal Article
75	Akahori Y, Wang L, Yoneyama M, et al.	遺伝子・免疫細胞治療学	Antitumor activity of CAR-T cells targeting the intracellular oncoprotein WT1 can be enhanced by vaccination.	Blood. 2018 Sep 13 132(11):1134-1145. doi: 10.1182/blood-2017-08-802926. Epub 2018 Jul 25.	Journal Article
76	Nakatomi T, Ichikawa S, Wakabayashi H, et al.	家庭医療学	Children and adolescents in institutional care versus traditional families: a quality of life comparison in Japan.	Health Qual Life Outcomes. 2018 Jul 28 16(1):151. doi: 10.1186/s12955-018-0980-1.	Journal Article

77	Inoue M, Uchida K, Nagano Y, et al.	消化管・小児外科	Impact of relationship between the stoma site and the primary incision on occurrence of laparotomy wound infection in contaminated or dirty wound operations in neonates.	Pediatr Surg Int. 2018 Sep 34(9):957-960. doi: 10.1007/s00383-018-4310-9. Epub 2018 Jul 28.	Journal Article
78	Nii M, Ishida M, Dohi K, Tanaka H, et al.	産科婦人科	Myocardial tissue characterization and strain analysis in healthy pregnant women using cardiovascular magnetic resonance native T1 mapping and feature tracking technique.	J Cardiovasc Magn Reson. 2018 Aug 2 20(1):52. doi: 10.1186/s12968-018-0476-5.	Journal Article
79	Tsuji M, Iida R, Sudo A.	整形外科	Arthroscopic findings of injured ulnar and radial collateral ligaments in the thumb metacarpophalangeal joint.	J Hand Surg Eur Vol. 2018 Dec 43(10):1111-1112. doi: 10.1177/1753193418790502. Epub 2018 Aug 2. No abstract available.	Journal Article
80	Toyoda H, Deguchi T, Iwamoto S, et al.	小児科	Weekly Rituximab Followed by Monthly Rituximab Treatment for Autoimmune Disease Associated With RAS-associated Autoimmune Leukoproliferative Disease.	J Pediatr Hematol Oncol. 2018 Nov 40(8):e516-e518. doi: 10.1097/MPH.0000000000001276.	Journal Article
81	Imanaka-Yoshida K, Matsumoto KI.	修復再生病理学	Multiple Roles of Tenascins in Homeostasis and Pathophysiology of Aorta.	Ann Vasc Dis. 2018 Jun 25 11(2):169-180. doi: 10.3400/avd.ra.17-00118.	Journal Article
82	Tanaka H, Katsuragi S, Hasegawa J, et al.	産科婦人科	Relationship between reproductive medicine for women with severe complications and maternal death in Japan.	J Obstet Gynaecol Res. 2019 Jan 45(1):164-167. doi: 10.1111/jog.13787. Epub 2018 Aug 16.	Journal Article
83	Jing W, Narushima M.	形成外科	Half-transection method combined with intravascular stent for supermicrosurgical lymphaticovenular anastomosis.	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2018 Dec 71(12):1816-1834. doi: 10.1016/j.bjps.2018.07.035. Epub 2018 Aug 8. No abstract available.	Letter



84	Kondo S, Araki T, Toiyama Y, et al.	消化管・小児外科	Downregulation of trefoil factor-3 expression in the rectum is associated with the development of ulcerative colitis-associated cancer.	Oncol Lett. 2018 Sep 16(3):3658-3664. doi: 10.3892/ol.2018.9120. Epub 2018 Jul 10.	Journal Article
85	Inoue M, Uchida K, Ichikawa T, et al.	消化管・小児外科	Contaminated or dirty wound operations and methicillin-resistant Staphylococcus aureus (MRSA) colonization during hospitalization may be risk factors for surgical site infection in neonatal surgical patients.	Pediatr Surg Int. 2018 Nov 34(11):1209-1214. doi: 10.1007/s00383-018-4338-x. Epub 2018 Aug 20.	Journal Article
86	Sakamoto S, Kanemitsu S, Shimpo H, et al.	胸部心臓血管外科	Tiny ruptured coronary aneurysm with coronary-pulmonary arterial fistula.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2018 Aug 20. doi: 10.1007/s11748-018-0995-x. [Epub ahead of print]	Journal Article
87	Kondo E, Maki S, Nii M, Yoshida K, et al.	産科婦人科	Long-term survival of a patient with malignant transformation of extragonadal endometriosis treated solely with chemotherapy: A case report.	J Obstet Gynaecol Res. 2018 Dec 44(12):2186-2189. doi: 10.1111/jog.13773. Epub 2018 Aug 21.	Case Report
88	Miki M, Ishii K, Sasaki T, Kato M, et al.	腎泌尿器外科	Predicting the tumorigenic phenotype of human bladder cancer cells by combining with fetal rat mesenchyme.	Urol Oncol. 2018 Oct 36(10):472.e1-472.e9. doi: 10.1016/j.urolonc.2018.07.008. Epub 2018 Aug 20.	Journal Article
89	Narushima M, Yamasoba T, Iida T, et al.	形成外科	Pure Skin Perforator Flaps: The Anatomical Vascularity of the Superthin Flap.	Plast Reconstr Surg. 2018 Sep 142(3):351e-360e. doi: 10.1097/PRS.00000000000004698.	Journal Article
90	Fukuyama K, Okada M.	精神科神経科	Effects of levetiracetam on astroglial release of kynurenine-pathway metabolites.	Br J Pharmacol. 2018 Nov 175(22):4253-4265. doi: 10.1111/bph.14491. Epub 2018 Oct 6.	Journal Article

91	Fujii E, Fujita S, Kagawa Y, Ito M.	循環器・腎臓内科	Acute pulmonary hemorrhage during atrial fibrillation HotBalloon ablation.	J Arrhythm. 2018 Jun 12 34(4):462-464. doi: 10.1002/joa3.12080. eCollection 2018 Aug.	Case Report
92	Kato M, Placencio-Hickok VR, Madhav A, et al.	腎泌尿器外科	Heterogeneous cancer-associated fibroblast population potentiates neuroendocrine differentiation and castrate resistance in a CD105-dependent manner.	Oncogene. 2019 Jan 38(5):716-730. doi: 10.1038/s41388-018-0461-3. Epub 2018 Sep 3.	Journal Article
93	Takebayashi SI, Ogata S, Ogata M, et al.	機能プロテオミクス	Mapping mammalian replication domains using the ion torrent semiconductor sequencing platform.	Biosci Biotechnol Biochem. 2018 Dec 82(12):2098-2100. doi: 10.1080/09168451.2018.1515617. Epub 2018 Sep 10.	Journal Article
94	Sugimoto M, Tsukitome H, Okamoto F, et al.	眼科	Clinical preferences and trends of anti-vascular endothelial growth factor treatments for diabetic macular edema in Japan.	J Diabetes Investig. 2019 Mar 10(2):475-483. doi: 10.1111/jdi.12929. Epub 2018 Oct 26.	Journal Article
95	Yamada R, Nishikawa K, Tanaka K, et al.	消化器肝臓内科	A Rare Form of Intraductal Papillary Mucinous Carcinoma.	Intern Med. 2019 Feb 1 58(3):451-452. doi: 10.2169/internalmedicine.1250-18. Epub 2018 Sep 12. No abstract available.	Journal Article
96	Iwashita Y, Hiramoto T, Suzuki K, et al.	救命救急センター	Possibility of venoarterial extracorporeal membranous oxygenator being a bridging therapy for hemodynamic deterioration of pulmonary tumor thrombotic	Medicine (Baltimore). 2018 Sep 97(37):e12169. doi: 10.1097/MD.00000000000012169.	Case Report
97	Yamaguchi M, Oguchi M, Suzuki R.	血液・腫瘍内科	Extranodal NK/T-cell lymphoma: Updates in biology and management strategies.	Best Pract Res Clin Haematol. 2018 Sep 31(3):315-321. doi: 10.1016/j.beha.2018.07.002. Epub 2018 Jul 3. Review.	Review

98	Banda CH, Ishiura R, Fujita M, et al.	形成外科	A simple method for lymphedema self-measurement using the Zozosuit bodysuit.	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2019 Jan 72(1):137-171. doi: 10.1016/j.bjps.2018.08.029. Epub 2018 Sep 4. No abstract available.	Letter
99	He F, Ma N, Midorikawa K, et al.	環境分子医学	Taurine exhibits an apoptosis-inducing effect on human nasopharyngeal carcinoma cells through PTEN/Akt pathways in vitro.	Amino Acids. 2018 Dec 50(12):1749-1758. doi: 10.1007/s00726-018-2651-2. Epub 2018 Sep 17.	Journal Article
100	Yamamoto A, Toiyama Y, Okugawa Y, et al.	消化管・小児外科	Identification of Predictors of Recurrence in Patients with Lower Rectal Cancer Undergoing Neoadjuvant Chemotherapy: A Direct Comparison of Short-Course and Long-Course Chemoradiotherapy.	Oncology. 2019 96(2):70-78. doi: 10.1159/000492617. Epub 2018 Sep 18.	Journal Article
101	D'Alessandro-Gabazza CN, Mendez-Garcia C, Hataji O, et al.	免疫学	Identification of Halophilic Microbes in Lung Fibrotic Tissue by Oligotyping.	Front Microbiol. 2018 Aug 30 9:1892. doi: 10.3389/fmicb.2018.01892 . eCollection 2018.	Journal Article
102	Nakamura T, Hagi T, Asanuma K, Sudo A.	整形外科	Intra-articular synovial sarcoma in the ankle joint: A case report.	Mol Clin Oncol. 2018 Oct 9(4):464-466. doi: 10.3892/mco.2018.1702. Epub 2018 Aug 20.	Journal Article
103	Magawa S, Tanaka H, Furuhashi F, et al.	産科婦人科	A literature review of herpes simplex virus hepatitis in pregnancy.	J Matern Fetal Neonatal Med. 2018 Oct 29 1-6. doi: 10.1080/14767058.2018.1527311. [Epub ahead of print]	Journal Article
104	Toiyama Y, Okugawa Y, Kondo S, et al.	消化管・小児外科	Comprehensive analysis identifying aberrant DNA methylation in rectal mucosa from ulcerative colitis patients with neoplasia.	Oncotarget. 2018 Sep 4 9(69):33149-33159. doi: 10.18632/oncotarget.26032. eCollection 2018 Sep 4.	Journal Article

105	Suzuki H, Fujimoto M, Kawakita F, et al.	脳神経外科	Tenascin-C in brain injuries and edema after subarachnoid hemorrhage: Findings from basic and clinical studies.	J Neurosci Res. 2018 Sep 22 doi: 10.1002/jnr.24330. [Epub ahead of print] Review.	Review
106	Kurohara K, Michi Y, Yukimori A, et al.	口腔顎顔面外科	The glomus tumor resorbed bone and teeth in the mandible: a case report.	Head Face Med. 2018 Sep 25 14(1):18. doi: 10.1186/s13005-018-0175-3. Review.	Case Reports, Review
107	Nii M, Kondo E, Maki S, Kubo M, et al.	産科婦人科	Safety and Efficacy of Laparoscopic Oophorocystectomy for Ovarian Dermoid Cyst Associated With Autoimmune Hemolytic Anemia.	Gynecol Minim Invasive Ther. 2018 Jan-Mar 7(1):27-30. doi: 10.4103/GMIT.GMIT_9_17 . Epub 2018 Feb 16.	Case Report
108	Ohii M, Toiyama Y, Omura Y, et al.	消化管・小児外科	Risk factors and measures of pulmonary complications after thoracoscopic esophagectomy for esophageal cancer.	Surg Today. 2019 Feb 49(2):176-186. doi: 10.1007/s00595-018-1721-0. Epub 2018 Sep 25.	Journal Article
109	Yasuma T, Kobayashi T, D'Alessandro -Gabazza CN, et al.	免疫学	Renal Injury during Long-Term Crizotinib Therapy.	Int J Mol Sci. 2018 Sep 25 19(10). pii: E2902. doi: 10.3390/ijms19102902.	Case Report
110	Kitamura Y, Kojima M, Kurosawa T, et al.	環境分子医学	Proteomic Profiling of Exosomal Proteins for Blood-based Biomarkers in Parkinson's Disease.	Neuroscience. 2018 Nov 10 392:121-128. doi: 10.1016/j.neuroscience.2018.09.017. Epub 2018 Sep 26.	Journal Article
111	Miyoshi T, Hosoda H, Nakai M, et al.	産科婦人科	Maternal biomarkers for fetal heart failure in fetuses with congenital heart defects or arrhythmias.	Am J Obstet Gynecol. 2019 Jan 220(1):104.e1-104.e15. doi: 10.1016/j.ajog.2018.09.024. Epub 2018 Sep 28.	Journal Article

112	Fukuoka S, Dohi K, Ichikawa Y, et al.	産科婦人科	Narrowing of the QRS complex, elimination of late gadolinium enhancement and remarkable reverse remodeling achieved by optimal medical treatment in non-ischemic dilated cardiomyopathy.	J Cardiol Cases. 2017 Oct 26 17(2):59-62. doi: 10.1016/j.jccase.2017.09.009. eCollection 2018 Feb.	Case Report
113	Matsubara H, Uchiyama E, Suzuki K, et al.	眼科	A Case of Focal Choroidal Excavation Development Associated with Multiple Evanescent White Dot Syndrome.	Case Rep Ophthalmol. 2018 Aug 28 9(2):388-394. doi: 10.1159/000492747. eCollection 2018 May-Aug.	Case Report
114	Sekito S, Nishikawa K, Masui S, et al.	腎泌尿器外科	Effect of Donor Age on Graft Function and Pathologic Findings in Living Donor Transplantation.	Transplant Proc. 2018 Oct 50(8):2431-2435. doi: 10.1016/j.transproceed.2018.04.009. Epub 2018 Apr 11.	Journal Article
115	Okugawa Y, Toiyama Y, Yamamoto A, et al.	消化管・小児外科	Close Relationship Between Immunological/Inflammatory Markers and Myopenia and Myosteatorsis in Patients With Colorectal Cancer: A Propensity Score Matching	JPEN J Parenter Enteral Nutr. 2018 Oct 18. doi: 10.1002/jpen.1459. [Epub ahead of print]	Journal Article
116	Murata M.	環境分子医学	Inflammation and cancer.	Environ Health Prev Med. 2018 Oct 20 23(1):50. doi: 10.1186/s12199-018-0740-1. Review.	Review
117	Eguchi A, Feldstein AE.	消化器肝臓内科	Extracellular vesicles in non-alcoholic and alcoholic fatty liver diseases.	Liver Res. 2018 Mar 2(1):30-34. doi: 10.1016/j.livres.2018.01.001. Epub 2018 Feb 28.	Journal Article
118	Okuno K, Matsubara T, Nakamura T, et al.	整形外科	Carbonic anhydrase IX enhances tumor cell proliferation and tumor progression in osteosarcoma.	Oncotargets Ther. 2018 Oct 12 11:6879-6886. doi: 10.2147/OTT.S177605. eCollection 2018.	Journal Article

119	Nishikawa H, Liu L, Nakano F, et al.	脳神経外科	Modified Citrus Pectin Prevents Blood-Brain Barrier Disruption in Mouse Subarachnoid Hemorrhage by Inhibiting Galectin-3.	Stroke. 2018 Nov 49(11):2743-2751. doi: 10.1161/STROKEAHA.118.021757.	Journal Article
120	Matsuyama H, Matsuura K, Ishikawa H, et al.	脳神経内科	Proposition of zinc supplementation during levodopa-carbidopa intestinal gel treatment.	Brain Behav. 2018 Dec 8(12):e01143. doi: 10.1002/brb3.1143. Epub 2018 Oct 25.	Journal Article
121	Nishiwaki T, Yamamoto N, Hirokawa Y, et al.	消化器肝臓内科	Histologically confirmed case of complete atrioventricular block due to hepatocellular carcinoma.	BMJ Case Rep. 2018 Oct 25 2018. pii: bcr-2018-224785. doi: 10.1136/bcr-2018-224785.	Case Report
122	Kobayashi Y, Tabata T, Omori M, et al.	産科婦人科	A Japanese survey of malignant disease in pregnancy.	Int J Clin Oncol. 2019 Mar 24(3):328-333. doi: 10.1007/s10147-018-1352-x. Epub 2018 Oct 27.	Journal Article
123	Kurihara K, Toyoda H, Amoano K, et al.	小児科	Discontinuation of NTBC after liver transplantation in tyrosinemia type 1.	Pediatr Int. 2018 Nov 60(11):1039-1041. doi: 10.1111/ped.13697. Epub 2018 Oct 30. No abstract available.	Case Report
124	Tanaka H, Katsuragi S, Hasegawa J, et al.	産科婦人科	The most common causative bacteria in maternal sepsis-related deaths in Japan were group A Streptococcus: A nationwide survey.	J Infect Chemother. 2019 Jan 25(1):41-44. doi: 10.1016/j.jiac.2018.10.004. Epub 2018 Oct 28.	Journal Article
125	Umekawa T, Maki S, Kubo M, et al.	産科婦人科	TADAFER II: Tadalafil treatment for fetal growth restriction - a study protocol for a multicenter randomised controlled phase II trial.	BMJ Open. 2018 Oct 30 8(10):e020948. doi: 10.1136/bmjopen-2017-020948.	Journal Article

126	Nakano F, Kawakita F, Liu L, et al.	脳神経外科	Anti-vasospastic Effects of Epidermal Growth Factor Receptor Inhibitors After Subarachnoid Hemorrhage in Mice.	Mol Neurobiol. 2018 Oct 31. doi: 10.1007/s12035-018- 1400-6. [Epub ahead of print]	Journal Article
127	Watanabe T, Tobinai K, Wakabayashi M, et al.	遺伝子・免疫細胞治療学	Outcomes after R- CHOP in patients with newly diagnosed advanced follicular lymphoma: a 10-year follow-up analysis of the JCOG0203 trial.	Lancet Haematol. 2018 Nov 5(11):e520-e531. doi: 10.1016/S2352- 3026(18)30155-8.	Journal Article
128	Kuriyama N, Tanemura A, Hayasaki A, et al.	肝胆膵・移植外科	Feasibility and Outcomes of Direct Dual Portal Vein Anastomosis in Living Donor Liver Transplantation Using the Right Liver Graft With Anatomic Portal Vein Variations.	Transplant Proc. 2018 Nov 50(9):2640-2644. doi: 10.1016/j.transproceed.20 18.03.053. Epub 2018 Mar 15.	Journal Article
129	Kato H, Usui M, Muraki Y, et al.	肝胆膵・移植外科	Intravenous Administration of Tacrolimus Stabilizes Control of Blood Concentration Regardless of CYP3A5 Polymorphism in Living Donor Liver Transplantation: Comparison of Intravenous Infusion and Oral Administration in Early Postoperative Period.	Transplant Proc. 2018 Nov 50(9):2684-2689. doi: 10.1016/j.transproceed.20 18.03.049. Epub 2018 Mar 15.	Journal Article
130	Usui M, Hayasaki A, Fujii T, et al.	肝胆膵・移植外科	Early Enteral Feeding of Daikenchuto Stimulates Early Bowel Movement With Increased Portal Venous Blood Flow After Living Donor Liver Transplantation.	Transplant Proc. 2018 Nov 50(9):2690-2694. doi: 10.1016/j.transproceed.20 18.03.037. Epub 2018 Mar 16.	Journal Article
131	Mizuno S, Hayasaki A, Ito T, et al.	肝胆膵・移植外科	De Novo Malignancy Following Adult-to- Adult Living Donor Liver Transplantation Focusing on Posttransplantation Lymphoproliferative Disorder.	Transplant Proc. 2018 Nov 50(9):2699-2704. doi: 10.1016/j.transproceed.20 18.03.059. Epub 2018 Mar 15.	Journal Article
132	Tanemura A, Mizuno S, Hayasaki A, et al.	肝胆膵・移植外科	Biliary Complications During and After Donor Hepatectomy in Living Donor Liver Transplantation Focusing on Characteristics of Biliary Leakage and Treatment for Intraoperative Bile Duct Injury.	Transplant Proc. 2018 Nov 50(9):2705-2710. doi: 10.1016/j.transproceed.20 18.03.045. Epub 2018 Mar 15.	Journal Article

133	Fujii T, Kuriyama N, Hayasaki A, et al.	肝胆膵・移植外科	Recombinant Human Soluble Thrombomodulin Attenuates Hepatic Ischemia and/or Reperfusion Injury by Inhibiting Leukocyte Accumulation in Mice With Normal and Fatty Liver.	Transplant Proc. 2018 Nov 50(9):2807-2814. doi: 10.1016/j.transproceed.2018.03.044. Epub 2018 Mar 15.	Journal Article
134	Kato H, Usui M, Nakatsuka A, et al.	肝胆膵・移植外科	Isolated Biliary Fistula After Donor Right Hepatectomy and Its Novel Interventional Treatment: Isolated Liver-Punctured Drainage.	Transplant Proc. 2018 Nov 50(9):2885-2888. doi: 10.1016/j.transproceed.2018.03.032. Epub 2018 Mar 16.	Case Report
135	Okamoto R, Taniguchi M, Onishi Y, et al.	循環器・腎臓内科	Predictors of confirmatory test results for the diagnosis of primary hyperaldosteronism in hypertensive patients with an aldosterone-to-renin ratio greater than 20. The SHRIMP study.	Hypertens Res. 2019 Jan 42(1):40-51. doi: 10.1038/s41440-018-0126-1. Epub 2018 Nov 6.	Journal Article
136	Suwannakul N, Ma N, Thanan R, et al.	環境分子医学	Overexpression of CD44 Variant 9: A Novel Cancer Stem Cell Marker in Human Cholangiocarcinoma in Relation to Inflammation.	Mediators Inflamm. 2018 Oct 9 2018:4867234. doi: 10.1155/2018/4867234. eCollection 2018.	Journal Article
137	Matsui Y, Kondo M, Uchiyama E, et al.	眼科	New clinical ultrahigh-resolution SD-OCT using A-scan matching algorithm.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2019 Feb;257(2):255-263. doi: 10.1007/s00417-018-4183-6. Epub 2018 Nov 7.	Journal Article
138	Sakuma H.	放射線科	2D Flow CMR for Risk Assessment in Coronary Artery Disease: An Alternative to PET?	JACC Cardiovasc Imaging. 2018 Oct 22. pii: S1936-878X(18)30825-8. doi: 10.1016/j.jcmg.2018.09.009. [Epub ahead of print] No abstract available.	Editorial
139	Hasegawa M, Tone S, Naito Y, et al.	整形外科	Prevalence of Persistent Pain after Total Knee Arthroplasty and the Impact of Neuropathic Pain.	J Knee Surg. 2018 Nov 9. doi: 10.1055/s-0038-1675415. [Epub ahead of print]	Journal Article



140	Sawada H, Mitani Y, Nakayama T, et al.	小児科	Detection of Pediatric Pulmonary Arterial Hypertension by School Electrocardiography Mass Screening.	Am J Respir Crit Care Med. 2018 Nov 14. doi: 10.1164/rccm.201802-0375OC. [Epub ahead of print]	Journal Article
141	Nakagawa T, Wakabayashi H, Naito Y, et al.	整形外科	The effects of bisphosphonate on pain-related behavior and immunohistochemical analyses in hindlimb-unloaded mice.	J Orthop Sci. 2018 Nov 23(6):1063-1069. doi: 10.1016/j.jos.2018.06.002. Epub 2018 Jul 4.	Journal Article
142	Kokubu N, Tsujii M, Akeda K, Iino T, et al.	整形外科	BMP-7/Smad expression in dedifferentiated Schwann cells during axonal regeneration and upregulation of endogenous BMP-7 following administration of PTH (1-34).	J Orthop Surg (Hong Kong). 2018 May-Aug 26(3):2309499018812953. doi: 10.1177/2309499018812953.	Journal Article
143	Koike Y, Uchida K, Inoue M, et al.	消化管・小児外科	Early first episode of pouchitis after ileal pouch-anal anastomosis for pediatric ulcerative colitis is a risk factor for development of chronic pouchitis.	J Pediatr Surg. 2018 Oct 30. pii: S0022-3468(18)30690-0. doi: 10.1016/j.jpedsurg.2018.10.056. [Epub ahead of print]	Journal Article
144	Matsuda K, Satoh M, Tabei KI, et al.	リハビリテーション部	Subregional heterogeneity of somatosensory dysfunction in the insula.	J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2018 Nov 19. pii: jnnp-2018-319174. doi: 10.1136/jnnp-2018-319174. [Epub ahead of print] No abstract available.	Journal Article
145	Fukuyama K, Hasegawa T, Okada M.	精神科神経科	Cystine/Glutamate Antiporter and Aripiprazole Compensate NMDA Antagonist-Induced Dysfunction of Thalamocortical L-Glutamatergic Transmission.	Int J Mol Sci. 2018 Nov 19 19(11). pii: E3645. doi: 10.3390/ijms19113645.	Journal Article
146	Takada A, Ii N, Hirayama M, et al.	放射線科	Long-term follow-up of intensive chemotherapy followed by reduced-dose and reduced-field irradiation for intracranial germ cell tumor.	J Neurosurg Pediatr. 2018 Nov 23 23(3):317-324. doi: 10.3171/2018.9.PEDS18181.	Journal Article

147	Nishimura A, Ohtsuki M, Kato T, et al.	整形外科	Locomotive syndrome testing in young and middle adulthood.	Mod Rheumatol. 2018 Dec 3 1-19. doi: 10.1080/14397595.2018.1551176. [Epub ahead of print]	Journal Article
148	Murata T, Kutsuna T, Kurohara K, et al.	口腔顎顔面外科	Evaluation of a New Hydroxyapatite Nanoparticle as a Drug Delivery System to Oral Squamous Cell Carcinoma Cells.	Anticancer Res. 2018 Dec 38(12):6715-6720. doi: 10.21873/anticancer.13040.	Journal Article
149	Murata Y, Ando K, Usui M, et al.	肝胆膵・移植外科	A case of hepatic anisakiasis caused by Pseudoterranova decipiens mimicking metastatic liver cancer.	BMC Infect Dis. 2018 Dec 4 18(1):619. doi: 10.1186/s12879-018-3540-8.	Case Report
150	Sakakura Y, Kamei M, Sakamoto R, et al.	臨床麻酔部	Biomechanical profiles of tracheal intubation: a mannequin-based study to make an objective assessment of clinical skills by expert anesthesiologists and novice residents.	BMC Med Educ. 2018 Dec 4 18(1):293. doi: 10.1186/s12909-018-1410-0.	Journal Article
151	Iwashita Y, Yamashita K, Ikai H, et al.	救命救急センター	Epidemiology of mechanically ventilated patients treated in ICU and non-ICU settings in Japan: a retrospective database study.	Crit Care. 2018 Dec 4 22(1):329. doi: 10.1186/s13054-018-2250-3.	Journal Article
152	Kurohara K, Tomomatsu N, Nakakuki K, et al.	口腔顎顔面外科	Treatment of refractory non-union after maxillary osteotomy: A case report.	J Stomatol Oral Maxillofac Surg. 2018 Dec 4. pii: S2468-7855(18)30269-6. doi: 10.1016/j.jormas.2018.11.017. [Epub ahead of print]	Journal Article
153	Hamada Y, Tanaka K, Yamada R.	消化器肝臓内科	Gastric Schwannoma Detected by Chest Radiograph.	Clin Gastroenterol Hepatol. 2018 Dec 6. pii: S1542-3565(18)31338-7. doi: 10.1016/j.cgh.2018.11.061. [Epub ahead of print] No abstract available.	Journal Article

154	Okada K, Kakeda M, Yamamoto S, et al.	皮膚科	Infantile bullous pemphigoid successfully treated with i.v. immunoglobulin and cyclosporin.	J Dermatol. 2018 Dec 7. doi: 10.1111/1346-8138.14726. [Epub ahead of print] No abstract available.	Letter
155	Nishihama K, Furuta N, Maki K, et al.	糖尿病・内分泌内科	Canagliflozin improves obesity and insulin resistance in a diabetic patient with Cushings disease undergoing postoperative steroid therapy: A case report.	Biomed Rep. 2018 Dec 9(6):497-502. doi: 10.3892/br.2018.1153. Epub 2018 Oct 1.	Journal Article
156	Kanemitsu S.	胸部心臓血管外科	Repair of tricuspid papillary muscle rupture after percutaneous coronary intervention.	Multimed Man Cardiothorac Surg. 2018 Dec 6 2018. doi: 10.1510/mmcts.2018.035.	Case Report
157	Kageyama Y, Miwa H, Arakawa R, et al.	血液・腫瘍内科	Expression of CD25 fluctuates in the leukemia-initiating cell population of CD25-positive AML.	PLoS One. 2018 Dec 14 13(12):e0209295. doi: 10.1371/journal.pone.0209295. eCollection 2018.	Journal Article
158	Miyata R, Kondo M, Kato K, et al.	眼科	Supernormal Flicker ERGs in Eyes With Central Retinal Vein Occlusion: Clinical Characteristics, Prognosis, and Effects of Anti-VEGF Agent.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2018 Dec 3 59(15):5854-5861. doi: 10.1167/iovs.18-25087.	Journal Article
159	Oda K, Katayama K, Tanoue A, et al.	循環器・腎臓内科	Acute kidney injury due to thin basement membrane disease mimicking Deferasirox nephrotoxicity: a case report.	BMC Nephrol. 2018 Dec 17 19(1):363. doi: 10.1186/s12882-018-1180-2.	Journal Article
160	Okugawa Y, Toiyama Y, Shigeyasu K, et al.	消化管・小児外科	Enhanced AZIN1 RNA editing and overexpression of its regulatory enzyme ADAR1 are important prognostic biomarkers in gastric cancer.	J Transl Med. 2018 Dec 18 16(1):366. doi: 10.1186/s12967-018-1740-z.	Journal Article

161	Hamdy A, Kitagawa K, Goto Y, et al.	放射線科	Comparison of the different imaging time points in delayed phase cardiac CT for myocardial scar assessment and extracellular volume fraction estimation in patients with old myocardial infarction.	Int J Cardiovasc Imaging. 2019 May 35(5):917-926. doi: 10.1007/s10554-018-1513-z. Epub 2018 Dec 18.	Journal Article
162	Shigemori T, Toiyama Y, Okugawa Y, et al.	消化管・小児外科	Soluble PD-L1 Expression in Circulation as a Predictive Marker for Recurrence and Prognosis in Gastric Cancer: Direct Comparison of the Clinical Burden Between Tissue and Serum PD-L1 Expression.	Ann Surg Oncol. 2019 Mar 26(3):876-883. doi: 10.1245/s10434-018-07112-x. Epub 2018 Dec 18.	Journal Article
163	Sasaki T, Sugimura Y.	腎泌尿器外科	The Importance of Time to Prostate-Specific Antigen (PSA) Nadir after Primary Androgen Deprivation Therapy in Hormone-Naïve Prostate Cancer Patients.	J Clin Med. 2018 Dec 18 7(12). pii: E565. doi: 10.3390/jcm7120565. Review.	Review
164	Hamada Y, Tanaka K, Katsurahara M, et al.	消化器肝臓内科	Solitary Rectal Metastasis from Primary Gastric Cancer.	Intern Med. 2019 Apr 1 58(7):1037-1038. doi: 10.2169/internalmedicine.1902-18. Epub 2018 Dec 18. No abstract available.	Journal Article
165	Ohtsuka J, Matsumoto Y, Ohta K, et al.	感染症制御医学・分子遺伝学	Nucleocytoplasmic shuttling of the human parainfluenza virus type 2 phosphoprotein.	Virology. 2019 Feb 528:54-63. doi: 10.1016/j.virol.2018.12.005. Epub 2018 Dec 18.	Journal Article
166	Nishikawa H, Nakano F, Suzuki H.	脳神経外科	Response by Nishikawa et al to Letter Regarding Article, "Modified Citrus Pectin Prevents Blood-Brain Barrier Disruption in Mouse Subarachnoid Hemorrhage by Inhibiting Galectin-3".	Stroke. 2018 Dec 7 STROKEAHA118024028. doi: 10.1161/STROKEAHA.118.024028. [Epub ahead of print] No abstract available.	Letter
167	Kato H, Iizawa Y, Nakamura K, et al.	肝胆膵・移植外科	The Critical Role of Biliary Candidiasis in Development of Surgical Site Infections after Pancreatoduodenectomy: Results of Prospective Study Using a Selective Culture Medium for Candida Species.	Biomed Res Int. 2018 Nov 18 2018:5939724. doi: 10.1155/2018/5939724. eCollection 2018.	Journal Article

168	Tagawa T, Sakuraba S.	臨床麻酔部	Intraoperative diagnosis of an unsuspected ruptured left ventricular aneurysm using transesophageal echocardiography: A case report.	Clin Case Rep. 2018 Nov 11 7(1):37–39. doi: 10.1002/ccr3.1902. eCollection 2019 Jan.	Case Report
169	Banda CH, Narushima M, Ishiura R, et al.	形成外科	Local Flaps with Negative Pressure Wound Therapy in Secondary Reconstruction of Myelomeningocele Wound Necrosis.	Plast Reconstr Surg Glob Open. 2018 Dec 14 6(12):e2012. doi: 10.1097/GOX.00000000000002012. eCollection 2018 Dec.	Case Report
170	Yamamoto W, Toyoda H, Xu DQ, et al.	小児科	CD3+ B-1a Cells as a Mediator of Disease Progression in Autoimmune-Prone Mice.	Mediators Inflamm. 2018 Dec 23 2018:9289417. doi: 10.1155/2018/9289417. eCollection 2018.	Journal Article
171	Miyoshi T, Sakaguchi H, Shiraishi I, et al.	産科婦人科	Fetal paroxysmal atrial fibrillation during transplacental therapy for supraventricular tachycardia.	HeartRhythm Case Rep. 2018 Oct 10 5(1):22–24. doi: 10.1016/j.hrcre.2018.10.004. eCollection 2019 Jan. No abstract available.	Case Report
172	Nakahashi S, Imai H, Imanaka H, et al.	救命救急センター	Ventilator-associated events: prevalence and mortality in Japan.	J Thorac Dis. 2018 Dec 10(12):6942–6949. doi: 10.21037/jtd.2018.12.40.	Journal Article
173	Tone S, Hasegawa M, Puppulin L, et al.	整形外科	Corrigendum to "Surface modifications and oxidative degradation in MPC-grafted highly cross-linked polyethylene liners retrieved from short-term total hip arthroplasty" [Acta Biomater. 66 (2018) 157–165].	Acta Biomater. 2019 Jan 1 83:487–488. doi: 10.1016/j.actbio.2018.10.044. Epub 2018 Nov 10. No abstract available.	Published Erratum
174	Miyazaki S, Oikawa H, Takekoshi H, et al.	機能プロテオミクス	Anxiolytic Effects of Acanthopanax senticosus HARMS Occur via Regulation of Autonomic Function and Activate Hippocampal BDNF-TrkB Signaling.	Molecules. 2018 Dec 31 24(1). pii: E132. doi: 10.3390/molecules24010132.	Journal Article

175	Higashigawa T, Kato N, Nakajima K, et al.	放射線科	Thoracic endovascular aortic repair for retrograde type A aortic dissection.	J Vasc Surg. 2019 Jan 3. pii: S0741-5214(18)32269-9. doi: 10.1016/j.jvs.2018.08.193 [Epub ahead of print]	Journal Article
176	Ito M, Ishimitsu T, Ichihara A, et al.	循環器・腎臓内科	JSH Statement: Kyoto declaration on hypertension research in Asia.	Hypertens Res. 2019 Jun 42(6):759-760. doi: 10.1038/s41440-018-0172-8. Epub 2019 Jan 7. No abstract available.	Comment
177	Ishii K, Sasaki T, Iguchi K, et al.	腎泌尿器外科	Pirfenidone, an Anti-Fibrotic Drug, Suppresses the Growth of Human Prostate Cancer Cells by Inducing G <sub>1</sub> Cell Cycle Arrest.	J Clin Med. 2019 Jan 4 8(1). pii: E44. doi: 10.3390/jcm8010044.	Journal Article
178	Maharjan BD, Ono R, Nosaka T.	感染症制御医学	Eya2 is critical for the E2A-HLF-mediated immortalization of mouse hematopoietic stem/progenitor cells	Int J Oncol. 2019 Mar 54(3):981-990. doi: 10.3892/ijo.2019.4673. Epub 2019 Jan 3.	Journal Article
179	Muraoka D, Seo N, Hayashi T, et al.	遺伝子・免疫細胞治療学	Antigen delivery targeted to tumor-associated macrophages overcomes tumor immune resistance.	J Clin Invest. 2019 Mar 1 129(3):1278-1294. doi: 10.1172/JCI97642. Epub 2019 Feb 11.	Journal Article
180	Takeuchi T, Mizuno S, Murata Y, et al.	肝胆膵・移植外科	Comparative Study Between Gemcitabine-Based and Gemcitabine Plus S1-Based Preoperative Chemoradiotherapy for Localized Pancreatic Ductal Adenocarcinoma, With Special Attention to Initially Locally Advanced Unresectable Tumor.	Pancreas. 2019 Feb 48(2):281-291. doi: 10.1097/MPA.0000000000001227.	Journal Article
181	Okada M, Fukuyama K, Kawano Y, et al.	精神科神経科	Memantine protects thalamocortical hyper-glutamatergic transmission induced by NMDA receptor antagonism via activation of system xc <sup>+</sup> .	Pharmacol Res Perspect. 2019 Jan 7 7(1):e00457. doi: 10.1002/prp2.457. eCollection 2019 Feb.	Journal Article

182	Goto H, Natsume T, Kanemaki MT, et al.	神経再生医学・細胞情報学	Chk1-mediated Cdc25A degradation as a critical mechanism for normal cell cycle progression.	J Cell Sci. 2019 Jan 25 132(2). pii: jcs223123. doi: 10.1242/jcs.223123.	Journal Article
183	Kanamaru H, Kawakita F, Nakano F, et al.	脳神経外科	Plasma Periostin and Delayed Cerebral Ischemia After Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage.	Neurotherapeutics. 2019 Jan 11. doi: 10.1007/s13311- 018-00707-y. [Epub ahead of print]	Journal Article
184	Ito AO, Shindo A, Ii Y, Ishikawa H, et al.	脳神経内科	Small Cortical Infarcts Transformed to Lobar Cerebral Microbleeds: A Case Series.	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2019 Apr 28(4):e30-e32. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrov asdis.2018.12.050. Epub 2019 Jan 14.	Journal Article
185	Tachibana R, Umekawa T, Yoshikawa K, et al.	産科婦人科	Tadalafil treatment in mice for preeclampsia with fetal growth restriction has neuro-benefic effects in offspring through modulating prenatal hypoxic conditions.	Sci Rep. 2019 Jan 18 9(1):234. doi: 10.1038/s41598- 018-36084-x.	Journal Article
186	Matsushima Y, Mizutani K, Yamaguchi Y, et al.	皮膚科	Vitamin D is no substitute for the sun.	J Allergy Clin Immunol. 2019 Mar 143(3):929-931. doi: 10.1016/j.jaci.2019.01.00 4. Epub 2019 Jan 17. No abstract available.	Comment
187	Tanioka S, Ishida F, Kuraishi K, et al.	脳神経外科	A novel radiological assessment of screw loosening focusing on spatial position change of screws using an iterative closest point algorithm with stereolithography data: technical note.	World Neurosurg. 2019 Jan 17. pii: S1878- 8750(19)30088-9. doi: 10.1016/j.wneu.2018.12.2 09. [Epub ahead of print]	Journal Article
188	Fukuoka S, Kurita T, Dohi K, et al.	循環器・腎臓内科	Untangling the obesity paradox in patients with acute myocardial infarction after primary percutaneous coronary intervention (detail analysis by age).	Int J Cardiol. 2019 Jan 4. pii: S0167- 5273(18)34376-6. doi: 10.1016/j.ijcard.2019.01.0 11. [Epub ahead of print]	Journal Article

189	Wakabayashi H, Kato S, Nagao N, et al.	整形外科	Interleukin-6 Inhibitor Suppresses Hyperalgesia Without Improvement in Osteoporosis in a Mouse Pain Model of Osteoporosis.	Calcif Tissue Int. 2019 Jun 104(6):658-666. doi: 10.1007/s00223-019-00521-4. Epub 2019 Jan 21.	Journal Article
190	Yamaguchi M, Suzuki R.	血液・腫瘍内科	JSH practical guidelines for hematological malignancies, 2018: 7. Peripheral T-cell lymphoma (PTCL).	Int J Hematol. 2019 Feb 109(2):137-140. doi: 10.1007/s12185-018-02589-4. Epub 2019 Jan 22. No abstract available.	Journal Article
191	Wada H, Matsumoto T, Yamashita Y, et al.	輸血・細胞治療部	Routine measurements of factor VIII activity and inhibitor titer in the presence of emicizumab utilizing anti-idiotypic monoclonal antibodies: comment.	J Thromb Haemost. 2019 Mar 17(3):555-556. doi: 10.1111/jth.14395. Epub 2019 Feb 27. No abstract available.	Letter
192	Suzuki K, Matsumoto T, Iwashita Y, et al.	血液・腫瘍内科	Clinicopathological features of TAFRO syndrome complicated by acquired hemophilia A and development of cardiopulmonary arrest that were successfully treated with VA-ECMO and tocilizumab.	Int J Hematol. 2019 Jun 109(6):737-743. doi: 10.1007/s12185-019-02604-2. Epub 2019 Jan 24.	Journal Article
193	Ohi M, Toiyama Y, Omura Y, et al.	消化器・小児外科	Possibility of limited gastrectomy for early gastric cancer located in the upper third of the stomach, based on the distribution of sentinel node basins.	Surg Today. 2019 Jun 49(6):529-535. doi: 10.1007/s00595-019-1768-6. Epub 2019 Jan 25.	Journal Article
194	Katsurahara M, Yamada R, Inoue H, et al.	光学医療診療部	Gastrointestinal: A case of small bowel obstruction caused by a bezoar, preoperatively found by double-balloon enteroscopy.	J Gastroenterol Hepatol. 2019 Jan 28. doi: 10.1111/jgh.14589. [Epub ahead of print] No abstract available.	Journal Article
195	Chino S, Kato N, Nakajima K, et al.	放射線科	Thoracic endovascular aortic repair for the treatment of ruptured acute type B aortic dissection.	Jpn J Radiol. 2019 Apr 37(4):321-327. doi: 10.1007/s11604-019-00813-7. Epub 2019 Feb 2.	Journal Article



196	Habe K, Wada H, Higashiyama A, et al.	皮膚科	Elevated plasma D- dimer levels in dermatomyositis patients with cutaneous manifestations.	Sci Rep. 2019 Feb 5 9(1):1410. doi: 10.1038/s41598-018- 38108-y.	Journal Article
197	Fukuoka S, Fujimoto N, Dohi K, et al.	循環器・腎臓内科	Echocardiographic changes in diastolic filling and stroke volume during postural alterations and ankle exercise in a patient with congenital defect of the pericardium.	J Echocardiogr. 2019 Feb 6. doi: 10.1007/s12574-019- 00419-y. [Epub ahead of print] No abstract available.	Journal Article
198	Usugi E, Ishii K, Hirokawa Y, et al.	腫瘍病理学	Antifibrotic Agent Pirfenidone Suppresses Proliferation of Human Pancreatic Cancer Cells by Inducing G0/G1 Cell Cycle Arrest.	Pharmacology. 2019 103(5-6):250-256. doi: 10.1159/000496831. Epub 2019 Feb 7.	Journal Article
199	Tanahashi S, Yamamura S, Nakagawa M, et al.	精神科神経科	Corrigendum to "Dopamine D2 and serotonin 5-HT1A receptors mediate the actions of aripiprazole in mesocortical and mesoaccumbens transmission" [Neuropharmacology 62 (2012) 765-774].	Neuropharmacology. 2019 Apr 148:406. doi: 10.1016/j.neuropharm.201 8.11.001. Epub 2019 Feb 4. No abstract available.	Journal Article
200	Jaseanchiun W, Kato H, Hayasaki A, et al.	肝胆膵・移植外科	The clinical impact of portal venous patency ratio on prognosis of patients with pancreatic ductal adenocarcinoma undergoing pancreatectomy with combined resection of portal vein following preoperative chemoradiotherapy.	Pancreatology. 2019 Mar 19(2):307-315. doi: 10.1016/j.pan.2019.01.02 0. Epub 2019 Jan 25.	Journal Article
201	Koike Y, Uchida K, Inoue M, et al.	消化器・小児外科	Predictors for Pouchitis After Ileal Pouch-Anal Anastomosis for Pediatric-Onset Ulcerative Colitis.	J Surg Res. 2019 Jun 238:72-78. doi: 10.1016/j.jss.2019.01.022 . Epub 2019 Feb 8.	Journal Article
202	Okada M, Fukuyama K, Kawano Y, et al.	精神科神経科	Memantine protects thalamocortical hyper-glutamatergic transmission induced by NMDA receptor antagonism via activation of system xc <sup>sup</sup> / <sub>&lt;/sub&gt;.</sub>	Pharmacol Res Perspect. 2019 Feb 7(1):e00457. doi: 10.1002/prp2.457.	Journal Article

203	Uchida K, Inoue M, Koike Y, et al.	消化器・小児外科	Complementary and alternative medicine use in treating pediatric surgical diseases including inflammatory bowel disease.	Pediatr Neonatol. 2019 Apr 60(2):231. doi: 10.1016/j.pedneo.2019.01.011. Epub 2019 Jan 29. No abstract available.	Letter
204	Ali Y, Dohi K, Okamoto R, et al.	循環器・腎臓内科	Novel molecular mechanisms in the inhibition of adrenal aldosterone synthesis: Action of tolvaptan via vasopressin V(2) receptor-independent pathway.	Br J Pharmacol. 2019 May 176(9):1315-1327. doi: 10.1111/bph.14630. Epub 2019 Apr 7.	Journal Article
205	Okada M, Fukuyama K, Kawano Y, et al.	精神科神経科	Effects of acute and sub-chronic administrations of guanfacine on catecholaminergic transmissions in the orbitofrontal cortex.	Neuropharmacology. 2019 Feb 22. pii: S0028-3908(19)30062-0. doi: 10.1016/j.neuropharm.2019.02.029. [Epub ahead of print]	Journal Article
206	Kanamaru H, Suzuki H.	脳神経外科	Potential therapeutic molecular targets for blood-brain barrier disruption after subarachnoid hemorrhage.	Neural Regen Res. 2019 Jul 14(7):1138-1143. doi: 10.4103/1673-5374.251190.	Journal Article
207	Wakai E, Ikemura K, Sugimoto H, et al.	薬剤部	Risk factors for the development of hypermagnesemia in patients prescribed magnesium oxide: a retrospective cohort study.	J Pharm Health Care Sci. 2019 Feb 13 5:4. doi: 10.1186/s40780-019-0133-7. eCollection 2019.	Journal Article
208	Higashikawa T, Ichikawa Y, Ishida M, et al.	放射線科	Assessment of coronary flow velocity reserve with phase-contrast cine magnetic resonance imaging in patients with heavy coronary calcification.	Int J Cardiovasc Imaging. 2019 May 35(5):897-905. doi: 10.1007/s10554-019-01531-x. Epub 2019 Feb 25.	Journal Article
209	Matsumoto T, Wada H, Ohishi K, et al.	輸血・細胞治療部	Comments to: An Evaluation of Hemostatic Abnormalities in Patients With Hemophilia by APTT Waveform, Peak Heights of APTT Waveform Are Useful for Diagnosing Hemophilia or Inhibitor.	Clin Appl Thromb Hemost. 2019 Jan-Dec 25:1076029618824419. doi: 10.1177/1076029618824419. No abstract available.	Journal Article

210	Okugawa Y, Toiyama Y, Yamamoto A, et al.	消化器・小児外科	Lymphocyte-C- reactive Protein Ratio as Promising New Marker for Predicting Surgical and Oncological Outcomes in Colorectal Cancer.	Ann Surg. 2019 Feb 16. doi: 10.1097/SLA.0000000000 003239. [Epub ahead of print]	Journal Article
211	Yamaguchi M, Suzuki R.	血液・腫瘍内科	JSH practical guidelines for hematological malignancies, 2018: II. Lymphoma-9. Extranodal NK/T- cell lymphoma, nasal type (ENKL).	Int J Hematol. 2019 Apr 109(4):371-376. doi: 10.1007/s12185-019- 02609-x. Epub 2019 Feb 28. Review. No abstract available.	Journal Article
212	Okumura A, Tanaka H, Tanaka K, et al.	産科婦人科	Retrospective study of pregnancies in women with Thr331Ala fibrinogen polymorphisms.	J Matern Fetal Neonatal Med. 2019 Mar 19 1-6. doi: 10.1080/14767058.2019.1 590329. [Epub ahead of print]	Journal Article
213	Baffour Tonto P, Yasuma T, Kobayashi T, et al.	免疫学	Protein S is Protective in Acute Lung Injury by Inhibiting Cell Apoptosis.	Int J Mol Sci. 2019 Mar 2 20(5). pii: E1082. doi: 10.3390/ijms20051082.	Journal Article
214	Kitaura Y, Nishimura A, Nakazora S, et al.	整形外科	Spontaneous Osteonecrosis of the Tarsal Navicular: A Report of Two Cases.	Case Rep Orthop. 2019 Jan 30 2019:5952435. doi: 10.1155/2019/5952435. eCollection 2019.	Case Report
215	Yamamoto D, Sato D, Nakayama H, et al.	総合薬理学	ZF-Mapper: Simple and Complete Freeware for Fluorescence Quantification in Zebrafish Images.	Zebrafish. 2019 Jun 16(3):233-239. doi: 10.1089/zeb.2018.1683. Epub 2019 Mar 11.	Journal Article
216	Eguchi A, Franz N, Kobayashi Y, et al.	消化器・肝臓学科	Circulating Extracellular Vesicles and Their miR "Barcode" Differentiate Alcohol Drinkers With Liver Injury and Those Without Liver Injury in Severe Trauma Patients.	Front Med (Lausanne). 2019 Feb 25 6:30. doi: 10.3389/fmed.2019.00030 . eCollection 2019.	Journal Article

217	Sugino Y, Kato T, Furuya S, et al.	腎泌尿器外科	The usefulness of the maximum Hounsfield units (HU) in predicting the shockwave lithotripsy outcome for ureteral stones and the proposal of novel indicators using the maximum HU.	Urolithiasis. 2019 Mar 11. doi: 10.1007/s00240-019-01123-3. [Epub ahead of print]	Journal Article
218	Sugimoto T, Bandera F, Generati G, et al.	循環器・腎臓内科	Left Atrial Dynamics During Exercise in Mitral Regurgitation of Primary and Secondary Origin: Pathophysiological Insights by Exercise Echocardiography Combined With Gas Exchange Analysis.	JACC Cardiovasc Imaging. 2019 Mar 13. pii: S1936-878X(19)30162-7. doi: 10.1016/j.jcmg.2018.12.031. [Epub ahead of print]	Journal Article
219	Akeda K, Yamada J, Linn ET, et al.	整形外科	Platelet-rich plasma in the management of chronic low back pain: a critical review.	J Pain Res. 2019 Feb 25 12:753-767. doi: 10.2147/JPR.S153085. eCollection 2019. Review.	Journal Article
220	Fujikawa H, Toiyama Y, Inoue Y, et al.	消化器・小児外科	Phase I study of preoperative chemoradiotherapy with sequential oxaliplatin and irinotecan with S-1 for locally advanced rectal cancer.	Oncol Lett. 2019 Apr 17(4):3930-3936. doi: 10.3892/ol.2019.10028. Epub 2019 Feb 8.	Journal Article
221	Kakimoto T, Matsumine A, Kageyama S, et al.	整形外科	Immunohistochemical expression and clinicopathological assessment of the cancer testis antigens NY-ESO-1 and MAGE-A4 in high-grade soft-tissue sarcoma.	Oncol Lett. 2019 Apr 17(4):3937-3943. doi: 10.3892/ol.2019.10044. Epub 2019 Feb 14.	Journal Article
222	Haya MAN, Ichikawa S, Wakabayashi H, et al.	家庭医療学	Family Caregivers' Perspectives for the Effect of Social Support on their Care Burden and Quality of Life: A Mixed-Method Study in Rural and Sub-Urban Central Japan.	Tohoku J Exp Med. 2019 Mar 247(3):197-207. doi: 10.1620/tjem.247.197.	Journal Article
223	Nishikawa H, Suzuki H.	脳神経外科	Response by Nishikawa and Suzuki to Letter Regarding Article, "Modified Citrus Pectin Prevents Blood-Brain Barrier Disruption in Mouse Subarachnoid Hemorrhage by Inhibiting Galectin-3".	Stroke. 2019 May 50(5):e137. doi: 10.1161/STROKEAHA.119.025133. No abstract available.	Letter

224	Tanaka K, Yamada R, Tsuboi J, et al.	光学医療診療部	A small adenocarcinoma in the cervical esophagus.	VideoGIE. 2019 Jan 26 4(3):111-113. doi: 10.1016/j.vgie.2018.12.00 3. eCollection 2019 Mar. No abstract available.	Journal Article
225	Sumiyoshi M, Maeda T, Miyazaki E, et al.	臨床麻酔部	Accuracy of the ClearSight™ system in patients undergoing abdominal aortic aneurysm surgery.	J Anesth. 2019 Mar 23. doi: 10.1007/s00540- 019-02632-6. [Epub ahead of print]	Journal Article
226	Yamaguchi K, Tanaka H, Furuhashi FH, et al.	産科婦人科	Antenatal Indomethacin Treatment for Congenital Myotonic Dystrophy.	Case Rep Obstet Gynecol. 2019 Feb 14 2019:4290145. doi: 10.1155/2019/4290145. eCollection 2019.	Case Report

計226件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること  
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article

2					Case report
3					
~					

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 目的、定義、設置者の責務、委員会等の役割・責務、委員会等の構成及び会議の成立要件等、迅速審査に関すること。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 目的、委員会の設置、申告、審査、指導等、情報開示、管理、利益相反相談室の設置、研究機関の長の責務に関すること。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年3回
・ 研修の主な内容 ・ 人を対象とする医学系研究倫理指針に関すること (2回) ・ 臨床研究法に関すること (1回)	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

内科専門研修プログラム、第一内科後期研修プログラム、消化器専門医養成プログラム、先端内視鏡・低侵襲インターベーション専門消化器医養成プログラム、消化器癌先端診療専門医養成プログラム、呼吸器内科後期研修プログラム、糖尿病専門医取得コース、内分泌・代謝専門医取得コース、肥満症専門医取得コース、病態栄養専門医取得コース、腫瘍内科後期研修プログラム、血液内科後期研修プログラム、脳神経内科専門医取得コース、消化管外科専門医取得プログラム、小児外科専門医取得プログラム、外科専門医取得コース、消化器外科専門医取得コース、内視鏡外科専門医取得コース、肝胆膵外科専門医取得コース、移植外科専門医取得コース、心臓血管外科専門医取得臨床コース、心臓血管外科専門医取得大学院コース、呼吸器外科専門医取得臨床コース、呼吸器外科専門医取得大学院コース、乳腺専門医取得コース、がんプロフェッショナル養成プラン ライフステージに応じた乳癌診療を担う人材養成コース、整形外科後期研修プログラム、産婦人科研修プログラム、小児科専門医研修プログラム、精神科専門医研修プログラム、皮膚科専門医コース、泌尿器科専門医研修プログラム、眼科専門医取得コース、耳鼻咽喉科専門医研修プログラム、脳神経外科後期研修プログラム、放射線科専門医取得コース、家庭医療学プログラムver2 (2.5)、総合診療専門医研修プログラム、形成外科専門医取得コース、麻酔認定医取得コース、麻酔専攻医取得コース、救急専門医取得コース、病理専門医研修プログラム、リウマチ・膠原病専門医研修プログラム、口腔外科専門医取得コース

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	308人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
伊藤 正明 (事務代理)	総合診療科	教授	40年	
岡本 隆二	総合内科	准教授	25年	H18. 4. 1-H21. 3. 31休職
土肥 薫	循環器内科	准教授	25年	
片山 直之	血液内科	教授	39年	
竹井 謙之	消化器・肝臓内科	教授	38年	
富本 秀和	脳神経内科	教授	38年	
小林 哲	呼吸器内科	准教授	28年	
片山 直之	腫瘍内科	教授	39年	
村田 智博	腎臓内科	講師	20年	
矢野 裕	糖尿病・内分泌内科	准教授	34年	
伊藤 正明	感染症内科	教授	40年	
伊佐地 秀司	一般外科	教授	40年	
楠 正人	消化管外科	教授	39年	
水野 修吾	肝胆膵・移植外科	准教授	24年	
庄村 遊	心臓血管外科	准教授	27年	
高尾 仁二	呼吸器外科	教授	35年	
小川 朋子	乳腺外科	教授	30年	
内田 恵一	小児外科	准教授	29年	
須藤 啓広	整形外科	教授	36年	



池田 智明	産科婦人科	教授	36年	
平山 雅浩	小児科	教授	33年	
岡田 元宏	精神科神経科	教授	28年	
山中 恵一	皮膚科	教授	26年	H15. 5. 16-H17. 6. 30休職
神田 英輝	腎泌尿器外科	講師	22年	
近藤 峰生	眼科	教授	28年	H11. 1. 25-H13. 1. 25休職
竹内 万彦	耳鼻咽喉・頭頸部外科	教授	34年	
鈴木 秀謙	脳神経外科	教授	29年	
成島 三長	形成外科	教授	18年	
佐久間 肇	放射線科	教授	34年	H5. 11. 1-H8. 3. 31休職
渡邊 昌俊	病理診断科	教授	30年	
中谷 中	ゲノム診療科	教授	30年	
丸山 一男	麻酔科	教授	35年	
丸山 一男	緩和ケア科	教授	35年	
今井 寛	救急科	教授	35年	
新井 直也	歯科口腔外科	教授	30年	H15. 4. 1-H16. 3. 31休職

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

【看護部】

皮膚排泄ケア院内認定「初級コース」研修：ストーマ・褥瘡・排泄などに関して基本的な講義及び実習

皮膚排泄ケア院内認定「中級コース」研修：初級コースの講義、演習を踏まえた症例検討を通し、アセスメント力を身につける内容

・研修の期間・実施回数

「初級コース」：9月4日、9月13日、9月22日、10月2日、10月30日、11月6日、11月11日、11月24日、12月11日（全9回）

「中級コース」：1月19日、1月31日、2月8日、2月19日、3月1日、3月5日（全6回）

・研修の参加人数

「初級コース」：修了者20名

「中級コース」：修了者14名

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

職員研修会：基本理念・基本方針、職員の行動規範、臨床研究、医療安全管理について

合同研修会：感染管理、医療情報、医療機器、医薬品の安全使用について

・研修の期間・実施回数

職員研修会：平成30年4月18日

合同研修会：平成30年5月16日、5月18日（同内容2回開催）

・研修の参加人数

職員研修会：1,866人（DVD及びe-learning受講を含む）

合同研修会：1,861人（DVD及びe-learning受講を含む）

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容

・研修の期間・実施回数

・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 <b>2. 現状</b>
管理責任者氏名	病院長 伊佐地 秀司
管理担当者氏名	中央放射線部長 佐久間 肇 薬剤部長事務取扱 池田 智明 医療安全管理部長 兼児 敏浩 感染制御部長 兼児 敏浩 臨床工学部長 須藤 啓広 医療情報管理部長 佐久間 肇 看護部長 江藤 由美 医学・病院管理部総務課長 山田 浩之 医学・病院管理部経営管理課長 伊藤 敦士 医学・病院管理部医事課長 土屋 有司

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	掲げる事項 規則第二十二條の三第二項に	病院日誌	診療に関する諸記録は全科電子カルテを導入。(患者の署名のある同意書及び医師等が手書きした記録は、スキャンしている。)なお、診療録の病院外への持ち出しは、本院が定める取扱いにおいて禁止している。
		各科診療日誌	
		処方せん	
		手術記録	
		看護記録	
		検査所見記録	
		エックス線写真	
		紹介状	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	
病院の管理及び運営に関する諸記録	項に掲げる事項 規則第二十二條の三第三	従業者数を明らかにする帳簿	従業者数を明らかにする帳簿は人事給与システムにて管理している。
		高度の医療の提供の実績	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	
		高度の医療の研修の実績	
		閲覧実績	
		紹介患者に対する医療提供の実績	
	に掲げる事項 規則第一條の十一第一項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一	院内感染対策のための指針の策定状況	総務課、感染制御部
	第二条	院内感染対策のための委員会の開催状況	総務課、感染制御部
	第三条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	総務課、感染制御部
	第四条	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課、感染制御部
	第五項	医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課
	第六号	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	総務課、薬剤部
	第七号	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
	第八号	医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
	第九号	医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課
	第十号	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	総務課、臨床工学部
	第十一号	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	経営管理課、臨床工学部
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課、医療安全管理部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課、感染制御部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	総務課
		医療安全管理部門の設置状況	総務課、医療安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	総務課、医療安全管理部
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	総務課、医療安全管理部、薬剤部
		監査委員会の設置状況	監査チーム、総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	各診療科、医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課、医療安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課、医療安全管理部、総合サポートセンター
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医事課、医療安全管理部
		職員研修の実施状況	総務課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医事課、医療安全管理部
管理者が有する権限に関する状況	総務課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	企画総務部総務チーム、総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 伊佐地 秀司	
閲覧担当者氏名	医学・病院管理部総務課長 山田 浩之	
閲覧の求めに応じる場所	医学・病院管理部総務課総務係	
閲覧の手続の概要		
①規程に定められた閲覧申込書を、原則として閲覧を希望する2週間前までに病院長に提出する。 ②病院長は、前記の申込みを適当と認めるときは、閲覧承認書を交付する。 ③閲覧に際しては、閲覧担当者が立ち会った上で行う。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全管理に関する基本的な考え方</li> <li>・ 安全管理のための委員会、その他医療機関内の組織に関する基本的事項</li> <li>・ 安全管理のための職員研修に関する基本方針</li> <li>・ 医療機関内における事故報告書等の医療に係る安全確保のための改善策に関する基本方針</li> <li>・ 医療事故等発生の対応に関する基本方針</li> <li>・ 医療従事者と患者との間の情報共有に関する基本方針</li> <li>・ 患者からの相談への対応に関する指針</li> <li>・ その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li> </ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設置の有無（有・無）</li> <li>・ 開催状況：年 132 回</li> <li>・ 活動の主な内容：</li> </ul> <p>○医療安全管理委員会（年 12 回）          医事法制に関する事項、医療事故の予防に関する事項、医療事故発生時の対策に関する事項、医事紛争の処理に関する事項、医療訴訟に関する事項、死亡事例及び重症合併症事例に関する事項並びに内部通報窓口（医療安全ポスト）への投書に関する事項を所掌する。</p> <p>○医療の質・倫理検討委員会（年 24 回）          移植医療、終末期医療及び治療拒否等における臨床倫理的問題に関すること、医療安全の確保に資する診療内容のモニタリングに関すること、インフォームド・コンセントの適正な実施についてのモニタリングに関すること並びに職員の医療安全の認識についてのモニタリングに関することを所掌する。</p> <p>○医療安全会議（年 84 回）          医療安全に係る検討及び死亡事例・重症合併症事例の検討を行う。</p> <p>○リスクマネージャー会議（年 12 回）          インシデントレポートの積極的な収集並びに医療安全管理委員会及び医療安全管理部において決定した事故防止策・対応策等の必要な情報を医療現場に周知徹底する。          各医療現場において、医療事故の原因及び防止方法並びに医療体制の改善方法について、独自に検討及び提言する。          各医療現場において、独自に事故防止のための研修会及び勉強会を開き、医療事故防止のための啓発活動を行う。</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容（すべて）：</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院長を講師として、病院の基本理念や基本方針について、医療サービス担当副病院長を講師として、職員の行動規範について、研究・広報担当副病院長を講師として、臨床研究について、医療安全担当副病院長を講師として、医療安全管理について、研修会を実施した。</li> <li>・ 外部講師による、演題「医療事故の経験から伝えたいこと」についての研修会を実施した。</li> <li>・ 外部講師による、演題「報告文化の醸成と実践」についての研修会を実施した。</li> </ul>	



④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (  有 ・ 無 )
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

ヒヤリハットニュースの発行（月1回及び必要に応じて随時）、緊急職員集会の開催、リスクマネージャー会議の開催により、インシデントレポートから積極的に収集した情報並びに医療安全管理委員会及び医療安全会議において決定した事故防止策・対応策等の必要な情報を医療現場に周知徹底する。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容：</li> <li>・ 院内感染対策に関する基本的な考え方</li> <li>・ 委員会等の組織に関する基本的事項</li> <li>・ 職員研修に関する基本方針</li> <li>・ 発生状況の報告に関する基本方針</li> <li>・ 感染発生対応に関する基本方針</li> <li>・ 指針の閲覧に関する基本方針</li> <li>・ その他の必要な基本方針</li> </ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容：</li> <li>・ 微生物（耐性菌、CD、感染症法上届け出疾患）の検出状況報告</li> <li>・ 職員流行性ウイルス疾患等の発生状況報告</li> <li>・ 病棟ラウンド指摘事項報告</li> <li>・ 手指衛生状況報告</li> <li>・ 血液培養2セット率報告</li> <li>・ AST活動状況報告</li> <li>・ 届け出抗菌薬使用状況報告</li> <li>・ 洗浄・消毒・滅菌に関する内容</li> <li>・ 感染症関連の従業員保健に関する内容</li> <li>・ 指針・マニュアルの改訂に関する内容</li> <li>・ 地域連携、国公立大学病院感染対策協議会の情報共有</li> <li>・ 感染症等の最新情報の共有</li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 6 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容（すべて）：</li> <li>・ 感染制御部長を講師として、感染管理について研修会を実施した。（同内容2回）</li> <li>・ 感染制御部副部長を講師として、抗菌薬適正使用とAST、新型インフルエンザ等対応マニュアルについて、感染制御部看護師長を講師として、院内感染対策マニュアルと院内感染対策指針と標準予防策と感染経路別予防策について研修会を実施した。（同内容3回）</li> <li>・ 外部講師による、演題「地球を救う感染対策を考えてみよう」についての研修会を実施した。</li> </ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院における発生状況の報告等の整備</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：</li> </ul> <p style="margin-left: 20px;">院内で検査された感染症検査が陽性になった場合は、検査部より感染制御部に電話連絡が入り、直ちに感染対策について部署へ出向いている。入院時の持ち込み感染症についても部署の師長より、入院時に感染制御部へ電話が入り対策を実施している。</p> <p style="margin-left: 20px;">従業者の感染症り患について、報告システムが確立されており、り患者が出た場合は感染制御部へ報告されている。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年3回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬剤部職員を講師として、全職員を対象に、医薬品の安全使用についての研修会を実施した。</li> <li>・ 薬剤部職員を講師として、研修医を対象に、麻薬の取扱いに関する研修会を実施した。</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成 (○有・無)</li> <li>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医薬品の採用</li> <li>2. 医薬品の購入</li> <li>3. 医薬品の管理</li> <li>4. 医薬品の請求と調剤・交付</li> <li>5. 未承認薬・適応外使用薬の適正使用手順</li> <li>6. 予約・施用と薬剤管理指導</li> <li>7. 医薬品の安全使用にかかる情報の取扱い</li> <li>8. 重大な有害事象の予防・対応</li> <li>9. 医薬品等の臨床試験（治験）および製造販売後調査に係る取扱い</li> <li>10. 研修医等による医薬品の取扱いの制限 <ol style="list-style-type: none"> <li>11. 各部門における手順</li> <li>12. 地域連携</li> </ol> </li> </ol> </li> </ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (○有・無)</li> <li>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： <p>Vision Blue（眼科手術用色素製剤）、セレン注射液（在宅輸液療法におけるセレン補充）等</p> </li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電子カルテ端末から電子医薬品集、最新の添付文書改訂情報、包装変更や供給状況など製薬企業からの情報を全職員が閲覧可能としている。</li> <li>・ 院内報（DI-Weekly、薬剤部ニュース、くすりの適正使用情報）を発行・配布のほか、職員用エレベーターホールへの掲示、病院ポータルサイトへ随時掲載している。</li> <li>・ 病棟薬剤師と医薬品情報室員で週一回ミーティングを実施し、薬剤情報を病棟へ伝達している。</li> <li>・ 疑義照会（レベル0c相当）事例を、医療安全管理委員会、リスクマネージャー会議、科長会議へ報告している。</li> <li>・ 薬剤部で把握した適応外使用事例を、未承認新規医薬品・医療機器評価委員会へ報告している。</li> </ul> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 79 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：</li> <li>・ 臨床工学部職員を講師として、全職員を対象に、医療機器に関する安全使用について研修会を実施した。</li> <li>・ 新規購入医療機器においては、使用する職員名簿を作成し、メーカー主催の研修会を実施した。また、研修会では、使用方法だけでなく不具合発生時の対応など安全使用についても講義を行った。</li> <li>・ 特に安全使用に際して、技術の習得が必要と考えられる医療機器については、医師および看護師を対象に、実地研修（使用方法や有効性・安全に関する事項、不具合が発生した場合の対応含む）を行った。</li> </ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る計画の策定 (○有・無)</li> <li>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</li> </ul> <p>臨床工学技士による定期点検とメーカー委託による定期点検を実施</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (○有・無)</li> <li>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：</li> <li>・ 眼科検査機器に付属するアタッチメントの使用について</li> <li>・ 難治性腹水に対する腹水濾過濃縮再静注用回路の使用について</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：</li> <li>・ 医療機器に係る添付文書等の収集、PMDAメディナビへの登録による情報収集や使用している医療機器については、メーカー等より情報収集をしている。その他、医療安全管理部や他大学との連携により不具合情報を共有している。</li> <li>・ PMDAから随時配信される情報やメーカー等から得た情報は、医療安全管理部を通して関係部署に周知し、必要があれば、リスクマネージャー会議にて報告するほか、電子カルテ端末からマニュアル等の閲覧システムにより情報を提供している。また、看護師と連携した医療機器中央管理運営委員会（年4回）に情報を提供している。</li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	○有・無
<p>・責任者の資格 (○医師)・歯科医師)</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者が、医療安全管理部長及び医療安全管理委員会委員長を担っており、これらを統括している。また、医療安全管理委員会には、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者が構成員となっており、医療安全管理責任者が各責任者を統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	○有 (7名) ・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品に係る添付文書等やメーカー、インターネット、文献等から情報を収集し、整理した上で、薬剤部発行の院内医薬品情報誌やオンライン医薬品集、薬剤部ホームページへの掲載、必要に応じて院内メールや文書等による通知、病棟担当薬剤師によるカンファレンス等での説明、その他掲示等により周知を行っている。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>調剤や病棟薬剤業務における疑義照会時に未承認薬や適応外薬のスクリーニングを行い、把握した事例について未承認新規医薬品・医療機器評価委員会で報告し、適宜、同委員会への審議申請を図っている。当該委員会に付議された申請のうち、医薬品に係る審議事項の事前調査と委員会での説明と審議を行っている。委員会で承認された適応外使用について、データベースを作成し薬剤部員で情報共有している。</p> <p>・担当者の指名の有無 (○有) ・無)</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>(所属：薬剤部医薬品情報室，職種：薬剤師) (所属： ， 職種 )</p> <p>(所属： ， 職種 ) (所属： ， 職種 )</p> <p>(所属： ， 職種 ) (所属： ， 職種 )</p> <p>(所属： ， 職種 ) (所属： ， 職種 )</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	○有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (○有) ・無 )</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：</p>	

<p>診療情報管理士が抽出したカルテを、各診療科の医師リスクマネージャーが評価を行い、その内容を医療安全管理部が確認する。</p>	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	①・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>診療録等の管理に関する責任者等が、診療記録の質的監査チェックシートを基に実施する。</p> <p>監査項目は、日々の診療記録の記載がされており且つ、診療計画の立案、適切なプロセスでインフォームドコンセントが実施され同意書が得られているか、カンファレンスの開催内容が適切に記載されているか等をチェックする。</p> <p>監査報告、指導については医療情報・診療記録管理委員会で今後の記載に当たっての注意事項、改善方法等について指導を行っている。また、診療科長、主治医、担当医、看護師にも質的監査チェックシートを送付し、報告している。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	①・無
<p>・所属職員：専従（5）名、専任（2）名、兼任（3）名</p> <p>うち医師：専従（1）名、専任（1）名、兼任（1）名</p> <p>うち薬剤師：専従（1）名、専任（1）名、兼任（1）名</p> <p>うち看護師：専従（3）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療の質・倫理検討委員会及び医療安全管理委員会に係る事務に関すること。</p> <p>(2) 医療事故その他の医療安全管理部において取り扱うことが必要なものとして病院長が認める事象が発生した場合における診療録その他の診療に関する記録の確認、患者又はその家族への説明、原因の究明の実施その他の対応の状況の確認及び当該確認の結果に基づく職員への指導に関すること。</p> <p>(3) インシデントレポートの収集・調査・防止対策及び防止対策の周知徹底に関すること。</p> <p>(4) 医療事故防止・安全管理に係わる病院内の巡視・点検・評価に関すること。</p> <p>(5) 医療事故防止・安全管理に係わる業務改善の提言・指導に関すること。</p> <p>(6) 医療安全に係わる教育・研修・啓発に関すること。</p> <p>(7) 医療事故防止対策マニュアルに関すること。</p> <p>(8) 医療安全会議及びリスクマネージャー会議に関すること。</p> <p>(9) 内部通報窓口（医療安全ポスト）に関すること。</p> <p>(10) 医療安全の確保に資する診療内容のモニタリングに関すること。</p> <p>(11) 職員の医療安全の認識についてのモニタリングに関すること。</p> <p>※(10)(11)について、インシデントレポートの内容確認、病院内の巡視、入院診療録の質・量の監査等により実施している。</p> <p>(12) インフォームド・コンセントの適正な実施についてのモニタリングに関すること。</p> <p>(13) 高難度新規医療技術を用いた医療の提供の適否等の決定に係る業務及び規程の遵守状況の確認等に関すること。</p> <p>(14) 未承認新規医薬品を用いた医療の提供の適否等の決定に係る業務及び規程の遵守状況の確認</p>	

等に関すること。

(15) 未承認新規医療機器を用いた医療の提供の適否等の決定に係る業務及び規程の遵守状況の確認等に関すること。

(16) 死亡事例及び重症合併症事例に関すること。

(17) その他医療の安全管理に関すること。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（8件）、及び許可件数（8件）

・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）

・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）

・活動の主な内容：

・診療科からの申出内容を確認し、高難度新規医療技術評価委員会に対して意見を求める。

・高難度新規医療技術評価委員会からの意見を踏まえ、当該医療技術の提供の適否等について決定し、その結果を病院長に報告を行った上、診療科の長に通知する。

・当該医療技術について定期的及び必要な場合に、手術記録、診療録等の記載内容、診療科からの報告により規程の遵守状況を確認する。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）

・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（94件）、及び許可件数（86件）

・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）

・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）

・活動の主な内容：

・診療科からの申出内容を確認し、未承認新規医薬品・医療機器評価委員会に対して意見を求める。

・未承認新規医薬品・医療機器評価委員会からの意見を踏まえ、当該未承認新規医薬品等の使用の適否等について決定し、その結果を病院長に報告を行った上、診療科の長に通知する。

・当該未承認新規医薬品等について定期的及び必要な場合に、手術記録、診療録等の記載内容、診療科からの報告により規程の遵守状況を確認する。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 293 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 181 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
  - ・医療安全管理部への報告の実施状況を確認させ、確認結果を病院長へ報告させること。
  - ・医療安全管理部への報告の実施状況が不十分な場合には、適切な報告のための職員等への研修及び指導を行わせること。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（（病院名：徳島大学病院）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（（病院名：熊本大学医学部附属病院）・無）
- ・技術的助言の実施状況  
下記のことについて、技術的助言があった。
  - ①PMDAへの院内発生医薬品副作用報告についての能動的な対応
  - ②処方疑義照会内容について、薬剤部内及び医療安全管理委員会等で定期的に情報共有する仕組み作りこれらに対し、下記のとおり対応した。
  - ①薬剤部内の会議や、病棟主任医師が参加する会議で周知を図った。
  - ②毎月の医療安全管理委員会及び科長会議にて報告し、疑義照会に関するインシデントレポートを促すことにより、医薬品安全管理・適正使用に対する意識の向上を図った。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況  
患者からの相談に応じる部門として、総合サポートセンターを設置している。内容が医療安全に係る疑いがある場合は、情報を医療安全管理部に提供する。

⑫ 職員研修の実施状況

- ・研修の実施状況  
医療安全担当副病院長を講師として、全職員を対象に特定機能病院の承認要件に係る研修について実施した。

(注) 前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）



⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

日本医療機能評価機構が主催する「平成30年度特定機能病院管理者研修[初回]」を受講

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

## 規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

### 管理者に必要な資質及び能力に関する基準

#### ・ 基準の主な内容

1. 医療法（昭和23年法律第205号）第10条の規定に則った者
2. 医療安全確保のために必要な資質・能力を有している者  
具体的には医療安全管理業務の経験、患者安全を第一に考える姿勢及び指導力等
3. 病院の管理運営に必要な資質・能力を有している者  
具体的には、高潔な人格と優れた学識、当院または当院以外の病院での組織管理経験、高度な医療を司る特定機能病院の管理運営上必要な資質・能力等
4. 当院に求められる使命を遂行するために必要な資質・能力を有している者  
具体的には、大学の附属病院としての使命である、診療・教育・研究の充実等に加え、次に掲げる事項について、継続的かつ確実に推進する姿勢と指導力等
  - ① 医療安全管理体制の改革を行う。また、患者の権利に配慮し、患者の視点に立った、患者中心の医療を行う。
  - ② 高度急性期病院の体制と機能を強化し、超高齢社会の医療の中核を担う。
  - ③ 地域医療及び先端医療への社会の要請に応えられる未来を担う医療人を育成する。
  - ④ 臨床研究を推進し、地域社会、国際社会に貢献する。
5. 三重県の中核病院として、地域医療に貢献するために必要な資質・能力を有している者  
具体的には、三重県や三重県医師会等とも連携し、地域の中核病院として県域全体の医療に貢献すること等について、継続的かつ確実に推進する姿勢と指導力等

#### ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（有・無）

#### ・ 公表の方法

大学ホームページに掲載しているほか、公募の案内文書を郵送する際に同封している。

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 ( (有)・無 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 ( (有)・無 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 ( (有)・無 )</li> <li>・ 公表の方法 大学ホームページに掲載している。</li> </ul>				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
尾西 康充	国立大学法人 三重大学		総務・財務・基金・企画・評価担当の理事として、大学の将来構想について豊富な知見を有しているため。	(有)・無
片山 直之	国立大学法人 三重大学		役職指定 (医学系研究科長)	(有)・無
伊藤 正明	国立大学法人 三重大学		役職指定 (医学部附属病院長)	(有)・無
村田 真理子	国立大学法人 三重大学		基礎医学系大学教員として、医学・医療に関する教育・研究について豊富な経験を有しているため。	(有)・無
兼児 敏浩	国立大学法人 三重大学		医療安全担当の副病院長として、病院管理の上で特に重要な医療安全について豊富な知見を有しているため	(有)・無
江藤 由美	国立大学法人 三重大学		役職指定 (医学部附属病院看護部長)	(有)・無
大高 弘士	国立大学法人 三重大学		役職指定 (事務局長)	(有)・無
山田 浩之	国立大学法人 三重大学		役職指定 (医学・病院管理部長)	(有)・無
山本 修一	国立大学法人 千葉大学		特定機能病院の病院長として、医学・医療や病院の管理について豊富な知見を有しているため。	有 (無)
西岡 慶子	株式会社光機械製作所	○	地元企業の経営者として、法人経営や地域の経済・社会について豊富な知見を有しているため。	有 (無)

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		(有)・無	
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <p>(1) 人事に関する事項</p> <p>(2) 診療に関する事項</p> <p>(3) 予算の配分方針に関する事項</p> <p>(4) 組織の設置廃止の方針に関する事項</p> <p>(5) 病院諸規程の制定改廃に関する事項</p> <p>(6) その他病院長が必要と認める事項</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月第4水曜に開催する科長会議での周知。</li> <li>・院内メールや紙資料配付による周知。</li> <li>・特に周知徹底が必要な事項については、別途緊急集会を開催。</li> </ul> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無（有 (無)）</p> <p>・公表の方法</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無（有 (無)）</p>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
伊佐地 秀司	○	医師	病院長
平山 雅浩		医師	副病院長（診療担当） 小児科学 教授
佐久間 肇		医師	副病院長（経営担当） 放射線医学 教授
近藤 峰		医師	副病院長（教育・地域連携担当） 眼科学 教授
鈴木 秀謙		医師	副病院長（研究・広報担当） 脳神経外科学 教授
江藤 由美		看護師	副病院長（医療サービス担当） 看護部長
兼見 敏浩		医師	副病院長（医療安全担当） 安全管理部 教授
高尾 仁二		医師	副病院長（働き方改革担当） 胸部心臓血管外科学 教授
山田 浩之		事務職員	副病院長（財務担当） 医学・病院管理部長

丸山 一男		医師	麻酔集中治療学 教授
楠 正人		医師	消化管・小児外科学 教授
伊藤 正明		医師	循環器・腎臓内科学 教授
片山 直之		医師	研究科長 血液・腫瘍内科学 教授
岡田 元宏		医師	精神神経科学 教授
竹井 謙之		医師	消化器内科学 教授
富本 秀和		医師	神経病態内科学 教授
小川 朋子		医師	乳腺センター 教授
竹内 万彦		医師	耳鼻咽喉・頭頸部外科学 教授
湊藤 啓広		医師	運動器外科学・腫瘍集学治療学 教授
今井 寛		医師	救命救急・総合集中治療センター 教授
池田 智明		医師	産科婦人科学 教授
新井 直也		歯科医師	口腔・顎顔面外科学 教授
成島 三長		医師	形成外科 教授
中島 亜矢子		医師	リウマチ・膠原病センター 教授
山中 恵一		医師	皮膚科学 教授
亀井 政孝		医師	臨床麻酔部 教授
渡邊 昌俊		医師	病理部長
笠島 茂		医師	疫学センター長
中谷 中		医師	中央検査部 教授
田丸 智巳		医師	臨床研究開発センター 教授
門脇 文子		看護師	病院長特命補佐（看護学科連携担当） 医学部看護学科附属病院連携推進室 教授

## 規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

### 管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有  無）（今後公表予定）
- ・ 公表の方法

本学ホームページに掲載。

- ・ 規程の主な内容

「病院長は、附属病院の管理、運営をつかさどり所属職員を統括する。」旨を規定し、また、副病院長や病院長補佐等の病院長を補佐する役職の設置についても規定している。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

#### <副病院長>

附属病院の管理運営を円滑に進めるため、病院長の職務を補佐する。

（担当：診療、経営、教育・地域連携、研究・広報、医療サービス、医療安全、働き方改革、財務）

#### <病院長補佐>

附属病院の運営を円滑に進めるため、病院長の職務を補佐する。

（担当：医療機器、教育・研究）

#### <病院長特命補佐>

附属病院の運営を円滑に進めるため、特別の命を受け、病院長の職務を補佐する。

（担当：医療情報システム、メディカルスタッフ、看護学科連携、特務）

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

病院長以下執行部のほかに各診療科に科長、副科長を置き、科長のもとに外来医長、病棟医長、教育医長及び研究医長を置き、それぞれに責任を持たせ担当業務を遂行させている。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する  
状況

監査委員会の設置状況	(有)・無
<p>・監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>医学部附属病院における医療に係る安全管理の状況を監査し、学長または病院長に対して提言を行う。</p> <p>・監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ( (有)・無 )</p> <p>・委員名簿の公表の有無 ( (有)・無 )</p> <p>・委員の選定理由の公表の有無 ( (有)・無 )</p> <p>・監査委員会に係る内部規程の公表の有無 ( (有)・無 )</p> <p>・公表の方法：</p> <p>本学ホームページに掲載。</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
奥野 正義	中部電力株式会社 調査役		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有・(無)	2
片山 眞洋	片山法律事務所 弁護士		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有・(無)	1
小池 敦	三重県立看護大学 看護学部 教授		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有・(無)	2
鈴木 明	浜松医科大学医学 部附属病院 医療安全管理室 特任講師	○	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有・(無)	1

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
  2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
  3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

「国立大学法人三重大学におけるコンプライアンスの推進に関する規程」によりコンプライアンス体制を整備しており、学長がコンプライアンスに関する管理責任者として最終責任を負い、本学のコンプライアンスの推進を図り、公正・公平かつ誠実な業務の遂行を確保するため、コンプライアンス委員会を設置している。

また、「三重大学監事監査規程」第9条において、「監事は、役員が内部統制システムを適切に構築し運用しているかを監視し検証しなければならない」と定め、特に同条第1号では、「学長、理事及び職員の職務執行が法令等に違反しないための法令等遵守体制」と明記している。また、同規程第17条では、「監事は、重要な意思決定の過程及び業務の執行状況を把握するため、役員会のほか、経営協議会、教育研究評議会、その他の重要な会議又は委員会に出席することができ、必要であると認めるときは、意見を述べることができる」となっている。これに基づき、監事は、以下の大学本部の重要会議に出席し、管理者からの病院事業報告の状況を検証している。

(役員会、経営協議会、教育研究評議会、拡大役員打合せ)

また、主として以下の病院関連各種重要会議に出席して法令等の遵守状況、管理者の開設者への事業報告状況、病院の経営状況を確認している。

(病院マネジメント会議、医療安全管理委員会、科長会議、病院監査委員会)

これら活動の状況は毎月初めに、監事より開設者に報告され、管理者にも写しにより報告される。

。(平成30年10月～令和元年9月の病院関連各種会議への出席の状況は下表のとおり)

会議名	主たる議題	出席回数
病院マネジメント会議	業績、医療安全、COI、当局指摘対応、労務管理ほか	39回
医療安全管理委員会	医療事故報告、継続フォロー案件報告ほか	11回
科長会議	各病院幹部・科長からの報告ほか	11回
病院監査委員会	外部委員会：医療安全体制に関するアドバイス	1回

- ・ 専門部署の設置の有無 (  有 ・ 無 )
- ・ 内部規程の整備の有無 (  有 ・ 無 )
- ・ 内部規程の公表の有無 ( 有 ・  無 ) (今後公表予定)
- ・ 公表の方法

本学ホームページに掲載。



**規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置**

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況            大学の理事会（本学においては役員会）とは別の会議体として、平成30年7月に「三重大学医学部附属病院監督管理委員会」を設置した。            委員は5名のうち3名が外部委員（本学と利害関係のない者）となっており、点検・監督の結果は報告書にまとめ、役員会にて報告している。</li> <li>・ 会議体の実施状況（ 年 1 回 ）</li> <li>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="radio"/>有・無 ）（ 年 1 回 ）</li> <li>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有 <input checked="" type="radio"/>無 ）（今後公表予定）</li> <li>・ 公表の方法            本学ホームページに掲載。</li> </ul>			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：三重大学医学部附属病院監督管理委員会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
尾西 康充	国立大学法人三重大学		<input checked="" type="radio"/> 有・無
大高 弘士	国立大学法人三重大学		<input checked="" type="radio"/> 有・無
佐藤 公治	日本赤十字社名古屋第二赤十字病院		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
山本 修一	国立大学法人千葉大学		有・ <input checked="" type="radio"/> 無
西岡 慶子	株式会社光機械製作所	○	有・ <input checked="" type="radio"/> 無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 通報件数 (年6件)</li><li>・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li><li>・ 周知の方法 医療安全会議、リスクマネージャー会議、ヒヤリハットニュース等において、全職員に周知を図り、また、そのことが周知されたか否かについて、リスクマネージャーに再度確認を行っている。</li></ul>

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	① 有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価の認定を受けている。 (2005年7月認定、2010年更新、2015年更新、2020年受審予定)	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	① 有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 病院ホームページでの情報発信のほか、医学系研究科・附属病院概要など各種広報誌の発行や公開講座の実施など、広く情報発信を行っている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	① 有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 がんセンター等で診療科間及び職種の枠を越えた連携によるチーム医療、集学的治療を推進している。また、本院において個々に展開されているチーム医療の機能を高め、チーム間の連携を強化することによって、診療のサポートをより効果的・効率的に行い、医療の質の向上に繋げることを目的としたチーム医療推進センターを設置し、チーム医療の機能及び連携の強化を行っている。	